

光ミュージアム 年報 2014.3

HIKARU MUSEUM

第8号

平成24-25年度

平成24・25年度 光ミュージアム年報 第8号

平成26年3月31日発行
編集・発行 光ミュージアム
〒506-0051 岐阜県高山市中山町175
TEL 0577-34-6511
FAX 0577-34-6065
<http://h-am.jp>

光ミュージアム 
HIKARU MUSEUM | 光記念館



HIKARU MUSEUM

目次

ごあいさつ

光ミュージアムの理念

テーマ「光」	5
地域に貢献できる博物館活動	5
生涯教育に役立つ博物館	5
国際交流の推進	5

施設概要

建築概要	6
施設の規模	6
フロアガイド	7

展示概要

常設展示	8
1階企画展示室	8
飛騨展示室	11
人類史展示室	12
美術展示室	14
特別展示	25
広重 東海道五十三次展	25
北大路魯山人と陶芸展	28
横山大観と日本美術院の画家たち ～近代日本画界の牽引者たち～	31
上村松園と清方・深水展	34

企画展示 美術部門	36
近代日本画のうつろい秋から冬へ ～大観・栖鳳・玉堂・松園・清方 他～	36
第5回世界現代木彫根付芸術祭	38
第6回 世界現代木彫NETSUKE芸術祭	40

企画展示 飛騨部門	42
飛騨地方の活断層と地震展	42
飛騨地方の火山展	44
太陽系と隕石展	46
飛騨展示室リニューアル（一部）	48

企画展示 人類史部門	52
世界の仮面展	52

教育普及活動

出張美術館	57
実施にあたって	57
平成24年度	57
平成25年度	59

体験学習	61
実施にあたって	61
人類史部門の体験学習	61
飛騨部門の体験学習	62

貸出資料	68
作品貸出	68

ごあいさつ

光ミュージアムは、平成11年4月の開館より15年を迎えさせていただきました。当館は平成14年に博物館法による「登録博物館」として、また平成19年には文化庁より文化財保護法第53条の規定による「公開承認施設」として承認をいただき、美術館・博物館活動を行っております。ここに年報第8号を刊行し、平成24・25年度の事業報告を致します。

特別展としては「広重 東海道五十三次展」「横山大観と日本美術院の画家たち」「上村松園と清方・深水」を開催し、企画展として「北大路魯山人と陶芸展」「近代日本画のうつろい 秋から冬へ」「世界現代木彫根付芸術祭」「飛騨地方の活断層と地震について」「太陽系と隕石展」「飛騨地方の火山展」を行って参りました。

教育普及活動としては、教育委員会ならびに学校と連携して毎年小・中学校で行っている「出張美術館」が11年目を迎えました。

また、大学との協力による岐阜女子大文化創造学部書道教育コースの書道練成会も、3年連続して開催することができました。

お蔭さまで当館のコレクションに対し、国内外の美術館・博物館から作品・資料の出品や貸し出し依頼が増えており、これに応じて他館との連携も深めております。

これからも、地域社会はもとより国際的にも貢献できる総合博物館として、事業・活動の充実を図って参りたいと存じます。これまでご協力を賜りました関係機関、関係者各位に心より厚く御礼を申し上げますと共に、今後とも当館に対し、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう謹みてお願い申し上げます。

平成26年3月31日
光ミュージアム 館長
小林秀明

光ミュージアムの理念

テーマ「光」

地球環境との対話が叫ばれる今日、生命エネルギーの根源である「光」をテーマに博物館活動を行なう。「光」のテーマは広範囲である。太陽からの光、自然からの光、化石等過去の物質からの光、人工的な過去の文明からの光、また、芸術・美術、人の心からの光など。こうした人類に向けて放たれる光を多方面にわたり

- ① 資料収集・保管
- ② 調査研究
- ③ 資料・収蔵品の紹介・展示
- ④ 教育普及活動

することにより、人類・社会の精神的・物質的な向上を目指すものとする。

来館者が、長い年月の中で地球や人類が育んできた歴史をたどり、自然と人類が残した優れた美・芸術・文化に触れることにより、今後の生き方、未来へ歩む方向性を見出せるような活動を展開して行く。

地域に貢献できる博物館活動

飛騨地域は、特有（古生代から新生代）の地層・地質・岩石・化石等を保有している。そこに住む人々の歴史と伝統文化を紹介することにより、地域に融和した文化環境の向上を目指す。地元、飛騨地域（高山市を含む）を中心に、岐阜県及び中部地区に貢献できる社会教育施設として、博物館活動を展開して行く。

生涯教育に役立つ博物館

老若男女を問わず、児童・生徒から大人まで気軽にご来館いただける公共施設として、生涯教育に役立つ総合博物館として、特に、今後の未来を担う青少年の知育向上のための教育施設として広く一般に利用していただくことを目的とする。

国際交流の推進

世界古代文明の遺物や優れた芸術品を展示・紹介することにより、国際交流の推進並びに地域社会の国際化にも貢献する。そのため積極的に国際的な企画展を実施して行く。

施設概要

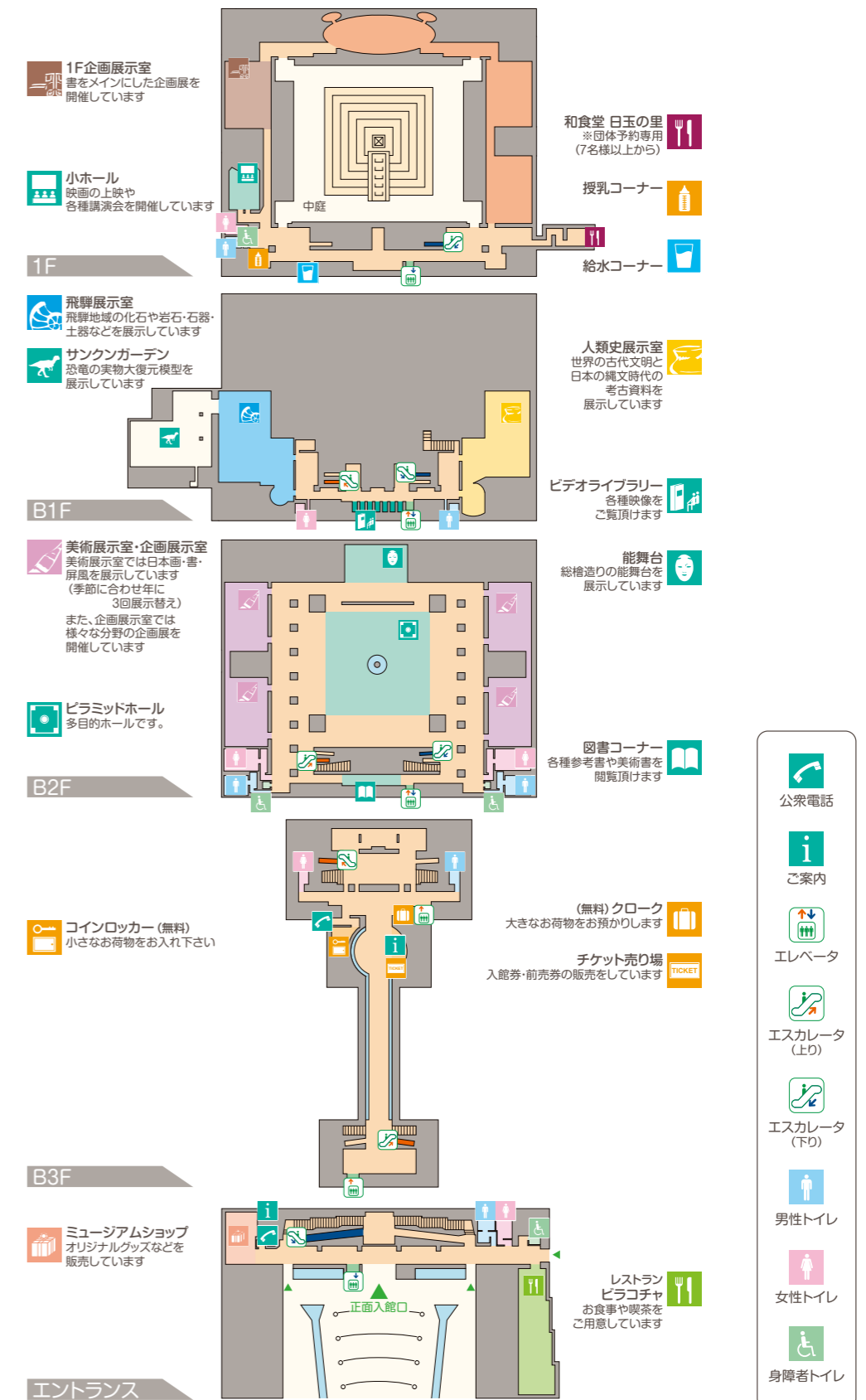
建築概要

所在地	岐阜県高山市中山町175
地区・地域	第2種住居地域 教育文化地区
工期	着工：平成5年6月23日 竣工：平成10年2月27日 開館：平成11年4月8日
敷地面積	75,753.75㎡ (22,915坪)
建築面積	14,097.00㎡ (4,264坪)
建ぺい率	19.78% ≤ 48.17% (地区計画)
延床面積	32,668.81㎡ (9,882坪)
容積率	45.84% ≤ 76.34% (地区計画)

施設の規模

駐車台数	来館者用 乗用車 105台 バス 27台 職員用 乗用車 66台
見学ゾーン面積	1階 3,750.62㎡ (1,135坪) 地下1階 2,812.12㎡ (851坪) 地下2階 7,013.97㎡ (2,122坪) 合計 13,576.71㎡ (4,107坪)
能舞台	1 舞台
小ホール	108席
収蔵庫面積	1,534.62㎡ (464坪)
図書室	30席
レストラン「ピラコチャ」	108席
和風レストラン「日玉の里」	82席 (団体予約専用)
立礼席	32席
美術館棟の外形	101m × 86m
外部ピラミッドの高さ	20.7m (中央床面より)
内部ピラミッドホールの天井高	21.7m (地下2階フロアより)
可変床面積	1,353㎡ (409坪)

フロアガイド



展示概要

常設展示

1階企画展示室

1.展示目的

1階企画展示室は、当館地下2階にある4つの展示室以外に、小規模な企画展示や常設展示を行う場として平成23年夏より開設されたスペースである。古来より人の精神性に深く関わり洗練されてきた美術品の展示を通して、高い感性を培うことを目的としている。

2.展示内容

1階企画展示室では、開設当初より当館所蔵の現代書を展示している。当館は書のコレクションが充実しており、多くは現代書であるが、いくらか歴史的に著名な人物の書もある。これらを混同させぬよう住み分けし、地下2階美術展示室で歴史書、1階企画展示室で現代書を展示することにした。

平成24年「春」

分類	作品	作者	制作年
現代書	「いまだひとり…」	青木香流	昭和40年代
	壺	上田桑鳩	昭和
	鷺	上松一條	平成10年
	丸凧「草原の虹」	大杉弘子	
	牡丹の句	加藤郁乎	
	像	小林抱牛	
	天心	酒井真沙	
	坐看雲起	佐々木月花	
	華嚴	須田剋太	平成元年
	鶴寿千歳	高澤翠雲	
	「T・S氏は…」	高松慕真	昭和34年
	加藤郁乎抄	辻桃子	
	八風吹不動	土田帆山	昭和63年
	「さあ今日もがんばろう…」	豊口広	平成10年
	幽	原田圭泉	
	打坐	藤田金治	平成9年
随順	棟方志功	昭和1年～50年	
風神	山崎大抱		
家族愛	吉田玉雲		

平成24年「秋」

分類	作品	作者	制作年
現代書	圓通 Highly Principled	稲葉修	
	九天 Highest Place in Heaven	上松一條	昭和27～平成17年 Showa or Heisei period, ca.1952-2005
	牡丹の句 Japanese Poem	加藤郁乎	
	曉	加藤石泉	
	慈円の歌 Poem by Jien	国井久美子	平成11年 Heisei period, 1999
魂 Soul	後藤教子	昭和62年 Showa period, 1987	

分類	作品	作者	制作年
	千鳥と遊ぶ智恵子 Chieko playing with plovers	小室李谿	
	(一、) One, the Ideogram for the Number One	沢田明子	平成6年 Heisei period, 1994
	聖観音 Sho-Kannon (Sanskrit: Avolokitesvara)	柴山抱海	
	宙 Mid-Air	鈴木桐華	平成3年頃 Heisei period, ca.1991
	隙間 Gap	須田剋太	昭和61年 Showa period, 1986
	烟花	角紅苑	
	穆如清風	高橋照弘	昭和42～平成20年 Showa or Heisei period, ca.1967-2008
	加藤郁乎抄	辻桃子	
	見ざる・言わざる・聞かざる	手嶋泰六	
	花下忘帰 Forgetting Return for Admiring Blossoms	福原云外	平成3年 Heisei period, 1991
	荘嚴	松井玲月	
	色即是空 All Things are Empty (Sutra)	水嶋山耀	平成9年 Heisei period, 1997
	彫 Abundance	山崎大抱	昭和27～平成3年 Showa or Heisei period, ca.1952-91
	光明	山下海堂	

平成25年「春」

分類	作品	作者	制作年
現代書	漢詩「筆墨生涯独善身」	今田篤洞	
	九天 Highest Place in Heaven	上松一條	昭和27～平成17年 Showa or Heisei period, ca.1952-2005
	丸凧「草原の虹」	大杉弘子	
	曉	加藤石泉	
	慈円の歌 Poem by Jien	国井久美子	平成11年 Heisei period, 1999
	魂 Soul	後藤教子	昭和62年 Showa period, 1987
	月下独酌	齋藤香坡	
	磊	桜井律好	平成18年 2006年
	この世に生まれた唯それだけですばらしい	柴山抱海	
	透	鈴木桐華	平成3年頃 1991年頃
	〇	須田剋太	
	堀口大學の詩 Poem by Horiuchi Daigaku	濱田崇湖	平成10年 Heisei period, 1998
	荘嚴	松井玲月	
	かな	森本妙子	
	巍 Lofty Mountain	山崎大抱	昭和60年 Showa period, 1985
	光明	山下海堂	
	光遠	竹内鳳仙	
	優鉢羅花萬劫春	秋本歌雨	
	香	手嶋泰六	平成
トンバ文字「外」	浅葉克己	平成24年	

平成25年「夏」

分類	作品	作者	制作年
現代書	「いまだひとり…」 Poem	青木香流	昭和40年代 Showa period, 1965-74

分類	作品	作者	制作年
	魁	青柳史郎	昭和53年 Showa period, 1978
	うつろひ	阿部朱昂	
	「夏すぎて…」 Japanese Poem	池田満寿夫	平成3年 Heisei period, 1991
	雄志 High Ambition	石川雲鶴	平成9年 Heisei period, 1997
	天聴	伊藤千勝	
	鷺 Heron	上松一條	平成10年 Heisei period, 1998
	秘め事の文字「朝」 Secret Letter Morning	大杉弘子	平成4年 Heisei period, 1992
	和歌	北川佳邑	
	擧 Admonition	小島碧雲	平成9年 Heisei period, 1997
	像	小林抱牛	
	兒戯 Child's Play	斎藤青鳥	
	激破貫通 Penetrate	須田剋太	平成元年 Heisei period, 1989
	烟花	角紅苑	
	伊都内親王願文 Copy an Ancient Calligraphy of Princess ITO	立石光司	平成8年 Heisei period, 1996
	八風吹不動 Part of Chinese Poem	土田帆山	昭和63年 Showa period, 1988
	疊 Heaping up	鶴木大寿	平成9年 Heisei period, 1997
	拜 Pray	中井史朗	昭和27~平成13年 Showa or Heisei period, ca.1952-2001
	汝(虚空に我)	中根海童	平成24年
	為	平方峰壽	
	漢詩 Poem in Classical Chinese	松島楠城	平成7年 Heisei period, 1995
	彪 Abundance	山崎大抱	昭和27~平成3年 Showa or Heisei period, ca.1952-91

平成25年「秋」

分類	作品	作者	制作年
現代書	「をぐら山…」 Japanese Poem	安東聖空	昭和初期 Early Showa period, ca.1926-35
	漢詩「藜杖全吾道」 Part of Chinese Poem	池大雅	江戸中期 Mid-Edo period
	漢詩「花柳春至盛」 Plants Sprout in Spring	市河米庵	江戸後期 Late Edo period
	「用ありといへども…」 Japanese Poem	大田蜀山人	江戸中~後期 Middle or Late Edo period, ca.1767-1823
	四季の歌(冬) Japanese Poem	岡山高蔭	大正~昭和 Taisho or Showa period
	漢詩「落花水暖千…」 Poem in Classical Chinese	勝海舟	幕末~明治32年 Late Edo or Meiji period, ca.1853-99
	瀟灑風流 Purity and Refinement	川谷尚亭	明治39年頃~45年 Meiji period, ca.1906-12
	松島瑞巖寺葡萄木彫賛歌	島崎藤村	明治30~昭和18年 Meiji, Taisho or Showa period, ca.1897-1943
	和歌 Japanese Poem	土井晩翠	明治31年頃~大正 Meiji or Taisho period, ca.1898-1926

分類	作品	作者	制作年
	高明	手島右卿	昭和 Showa period
	漢詩「新霽初之夕…」 Poem in Classical Chinese	中林梧竹	明治 Meiji period, ca.1868-1912
	藤原定家自筆書状 Letter by Fujiwara no Teika	藤原定家	平安末期~鎌倉初期 Late Heian or Early Kamakura period, ca.1184-1206
	消息	松尾芭蕉	
	南山壽 Celebrating a Long Life	松林桂月	大正~昭和38年 Taisho or Showa period, ca.1912-63
	寿星拜日讃	皆川淇園	江戸中期 Mid-Edo period
	漢詩 Poems in Classical Chinese	頼山陽	江戸後期(文政10年) Late Edo period, 1827
	漢詩「十字街頭乞…」 Chinese Poem	良寛	江戸後期 Late Edo period, ca.1781-1831

飛騨展示室

1.展示目的

現代の人類社会を支える自然が現在の姿になるまで、人類を含む全ての生命が果たしてきた役割と環境の変化を紹介する。いつの時代においても1つ1つの生命には役割があり、一切無駄無く配置されている。生命と環境の長い歴史と積み重ねを知ることにより、自然をかけたえのないものとして再認識し、慈しむ心を育てる。

2.展示内容

飛騨は古生代の福地累層、中生代の手取層群、新生代の火砕流堆積層等各年代の地層や岩石が露出していることで有名である。飛騨の実物資料を通して、地球の自然界における普遍真理を捉え、一切無駄無く培われた生命の役割と命の尊さ、環境との関わり等を紹介している。展示は飛騨産出の化石と考古資料を中心に古生代から現代までの飛騨の歴史と生命の関わりを提示している。展示は命と心の大切さを伝えられるよう、復元模型やジオラマに力を入れた。特に植物ジオラマは、葉脈に至るまで化石を元に忠実に復元している。

〈輝く生命の星〉

導入部に宇宙から見た地球を表現し、自然の美しさと思議さを提示しながら視点を飛騨に絞っていく。
※展示手法：
○地球模型・100インチモニター映像
○実物資料：隕石

〈古生代〉

飛騨にある古生代の地層から、サンゴをはじめとする海の生き物の化石が数多く発見されている。これらの原始生物は何億年もかけて大量の酸素を放出し、生命の星とよばれる地球の基礎となる、オゾン層や大気等の環境をつくったといわれている。また、現在の珊瑚礁のように、古生代のサンゴと藻類も理想的な共生関係を保って繁栄を遂げたことを紹介している。
※展示手法：
○実物資料…海生動物化石・岩石
○復元模型…実物資料を用いて「福地累層」「デボン紀岩盤」の一部を原寸大に復元した。
○ジオラマ…「デボン紀」「石炭紀」「ペルム紀の海」の様子を忠実に復元した。ミラービジョン・映像。

〈中生代〉

飛騨地域にまたがる中生代の地層「手取層群」は恐竜や植物化石を多く産出することで知られている。海から陸、湖、川、空へと生活環境を広げ、動物と植物が共生しながら繁栄を遂げ、中生代の生活環境をつくったことを伝える。
※展示手法
○実物資料…陸上植物化石・海生動物化石等。
○ジオラマ…手取型植物群を原寸大で葉脈に至るまで、精巧に復元した。
○恐竜模型…手取層群から発見されたスギヤマリユウ・カガリュウの原寸大復元模型。

〈新生代〉

飛騨の山々は、新生代の活発な火山活動とプレートの活動によって形成されたといわれている。大地の巨大なエネルギーを地形の痕跡等から伝える。

また、新生代は人類が出現し、活動を始めた時代でもある。

人類が作った道具を地球史46億年の産物である岩石、粘土、木の素材表現をするという視点で展示し、自然の産物を借用して人類は営み始めたことを伝えている。自然に適応するために道具を作り、自然素材の特性を活かして繁栄を遂げた人類と自然との共生を紹介する。

※展示手法

○実物資料…石器、土器、岩石。

○映像模型…噴火と再生の様子を紹介。

〈考古〉

高山市丹生川町広殿（ひろんど）遺跡の紹介

※展示手法

○実物資料…土器・石器

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習をする場とする。

べたべた地層をやってみよう…古生代・中生代・新生代の3つの時代の地層を作り各時代の生きていたもの（ぬいぐるみ）を貼り付ける体験学習。

※学習手法

○Q & A コーナー…タッチパネルモニターでの、展示内容を題材にした3択5問のクイズで、展示の復習を促している。

○体験学習室…多目的スペース。実物資料に触れる、企画展等を計画。

○体験学習室…触れる化石、拓本体験コーナー、恐竜パズル、折り紙コーナー、ぬりえコーナー等。

人類史展示室

1.展示目的

展示は、人類が共通して持つ普遍の心、『崇める心』をテーマにした。

古来より人類は自然を畏れ尊び、人間の知恵と力の及ばないところに神の世界があると考え、崇める心を培ってきた。豊かな文化や現代にまで残る遺産といった古代文明の所産は「崇める心」の象徴であり、現代文明においても人々の心のよりどころとなっている。また、先人の努力があって我々も今日の生活を営めるのであり、何千年も前から現代にまで通じる文化の共通性・独自性を知ることが、今後の文化・文明を考える上でも重要である。

ダイナミックな造形を生んだ世界各地の文化遺産の展示を通して、21世紀を生きる現代人の視野を広げ、文明を育む原動力となった人類の心を問う場を提供している。

2.展示内容

人類史展示室では、世界各地の考古資料を各文明・文化ごとにまとめた展示を行っている。旧石器時代から世界の7つの文明と日本の縄文時代について、その全体像と精神性を実物資料、模型、解説パネル、映像、ミラービジョン等によって紹介している。

『崇める心』をテーマに人類の心を探り、その帰結としての諸文明を提示している。

〈旧石器時代〉

約400万年以上前から世界各地に広がった人類は、厳しい自然環境に適応しつつ豊かな文化を育んでいった。火の使用、石器の加工技術、豊穡や秩序を祈る洞窟壁画等を通して、旧石器時代の人々の『崇める心』を中心に紹介している。

※展示手法

○実物資料…旧石器。

○縮小模型…旧石器時代の洞窟壁画。

〈世界の古代文明〉

約1万年前頃から、世界各地に文明・文化が興っていった。古代文明展示の導入として大型の地図・年表を配置し、7つの文明と日本の縄文時代の地理的・時代的な位置関係を一覧できるよう工夫した。

各文明に見られる環境や遺跡・遺物を一堂に見ることで、それぞれの相違点や普遍性を垣間見ることができる。

※展示手法

○世界地図に8つの21インチモニターを配置し、各文明の気候風土・代表的な遺跡・遺物を映像で一覧できるようにしている。

〈古代文明〉

紀元前3000年頃より栄えた世界的にもよく知られる7つの文明を、コーナーごとに分けて展示している。世界各地の古代文明を社会のあり方や建築、実物資料の造形や紋様等、多方面から見つめ、比較することで、それぞれの文明を支えた人々の宗教観・死生観を探り、人類の未来を模索できるようにしている。

※展示コーナー

①メソポタミア文明

②ギリシア・地中海文明

③エジプト文明

④メソアメリカ文明

⑤中国文明

⑥インダス・インド文明

⑦アンデス文明

※展示手法

○実物資料…保存状態の良い副葬品の展示。特に中・南米は当時の人々の精神性を伝える土器や、布製品等の一級資料で充実している。

○グラフィック…大型写真パネル、地図・年表、解説文を全文明統一した手法で配置している。

○模型資料…当時の人々の精神性を伝える神殿縮小模型（ウルのジクラット・パルテノン神殿・ティカール神殿）、三内丸山遺跡の復元模型、巨木柱等を設置している。また、アンデス文明『太陽の門』の精巧な原寸大の模型は、現地の天野博物館にご協力いただいた資料を元に作成したものである。

〈縄文〉

縄文時代は近年の発掘・調査・研究により、その生活水準の豊かさが見直され、現在でも新たな発見が相次いでいる。

自然と共に生き、1万年以上もの間続いた縄文時代の全体像を提示し、同時期に栄えた世界の文明と共に展示している。

※展示手法

○実物資料…土偶、土器、石製品。

○レプリカ…木製品、土器。

○ミラービジョン…三内丸山遺跡の5500年前と発掘時の様子を縮小模型で重ねてみせる。盛土模型、巨木柱模型、縄文時代の紹介映像

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習する場とする。

※学習手法

- 古代文字スタンプ…エジプトのヒエログリフとマヤ文字のスタンプを用意し、名前や来館日等を古代の絵文字で押し、持ち帰られるようにしている。
- 土器の立体パズル…縄文の火炎土器とアンデスの罎形土器を電磁石で組み立て、資料復元のミニ体験ができるようにしている。
- Q & Aコーナー…タッチパネルモニターでの、展示内容を題材にした3択5問のクイズで、展示の復習を促している。
- スタンプラリー…展示室内9ヶ所にスタンプを設置し、各文明の建物や器・土偶などのスタンプを押せるようにしている。

美術展示室

1. 展示目的

芸術は古来より人の精神性に深く関わり、洗練されてきた。万人に通ずる清明正直な美の世界から、高い感性を培うことを目的としている。

2. 展示内容

光ミュージアム地下2階には展示室が4室ある。この4室を特別展の内容に合わせて配分し、特別展の展示と美術のコレクション展示とに使用している。

当館は浮世絵の作品が充実しており、肉筆画：約420点、版画：約220点のコレクションは日本有数といえる。またこの他に、近・現代の日本画が約250点、書が約230点、西洋絵画及び日本近代洋画が約140点ある。コレクション展示ではこれらの中から特に、日本画・書・洋画の展示を行ない、日本画と書は作品の保護を考慮して年に3~4回展示替えを行っている。

平成24年「通年」

分類	作品	作者	制作年
現代アート	三人の人物	アウレリア・ムニョス	1971年
	襟付きケープ	アウレリア・ムニョス	
	リプロ・シックサック	アウレリア・ムニョス	
	白い海	アウレリア・ムニョス	1986年
	インカへのオマージュ	アウレリア・ムニョス	
	パンブースティック	アウレリア・ムニョス	
	ペインティング	アウレリア・ムニョス	
	アベ・ブランカ	アウレリア・ムニョス	
	テーブル	イヴ・クライン	
	浦島	池田満寿夫	
	緑陽	池田満寿夫	
	万葉人	池田満寿夫	
	舍利	池田満寿夫	
	y-古代夢幻	池田満寿夫	平成5 (1993) 年
	y-頭籠	池田満寿夫	平成4 (1992) 年
	y-青笛川	池田満寿夫	平成6 (1994) 年
	動物の祭り		
	池田満寿夫		
		平成元 (1991) 年	
	炎の祭り	池田満寿夫	

分類	作品	作者	制作年
	平成元 (1991) 年		
	憶劫	須田尅太	
	切るなり	須田尅太	昭和63 (1988) 年
	華巖	須田尅太	平成2 (1990) 年
	茶	須田尅太	昭和58 (1983) 年
	天	須田尅太	昭和61 (1986) 年
	一	須田尅太	昭和63 (1988) 年
	○△□	須田尅太	
	行心	須田尅太	昭和61 (1986) 年
	大道	須田尅太	平成元 (1989) 年
	愚徹	須田尅太	昭和61 (1986) 年
	抽象画	須田尅太	
	癡痕	ズビネック・セカール	1976年
	無題	ズビネック・セカール	1976~77年
	ミツマタ備長炭オブジェ	保坂桂一	平成13 (2001) 年
	CARD BIRD I	ロバート・ラウシェンバーグ	
	CARD BIRD II	ロバート・ラウシェンバーグ	
	CARD BIRD III	ロバート・ラウシェンバーグ	
	CARD BIRD IV	ロバート・ラウシェンバーグ	
	CARD BIRD V	ロバート・ラウシェンバーグ	
CARD BIRD VI	ロバート・ラウシェンバーグ		
CARD BIRD VII	ロバート・ラウシェンバーグ		
ドア	ロバート・ラウシェンバーグ		
哄笑	岡本太郎		
洋画	アメリカ人闘牛士 マリアノ・セバージョス	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	1825年頃
	スピリアート夫人	カレル・ヴァン・ベル	1920年
	画家とモデル	ギュスターヴ・コラン	
	ジヴェルニーの草原、朝	クロード・モネ	1888年
	岸辺の小舟 (ヴィル・ダブルー)	ジャン=バティスト=カミーユ・コロー	1865~70年頃
	木を拾う人	ジャン=バティスト=カミーユ・コロー	1855年頃 - 1875年
	羊の居る風景	ジャン=バティスト=カミーユ・コロー	1869年
	川の女神の姿をした婦人の肖像	ジャン=マルク・ナティエ	
	白いドレスを着た娘	トーマス・ロス	
	洗濯をする農婦	フィンセント・ファン・ゴッホ	1885年頃
	海	モーリス・ド・ヴラマンク	1920年頃~55年
	ラ・フェルテ・ミロン城	モーリス・ユトリロ	1939年頃

平成24年「春」

分類	作品	作者	制作年
日本画	鶴の舞	石田 武	昭和54年 1979年
	麗日	磯田長秋	昭和10年 1935年
	京の町	磯田長秋	
	三美人之図	上村松園	明治41年 1908年
	紅椿	奥村土牛	昭和30年頃 1955年頃
	童子龍乗仙人図	尾竹国観	

分類	作品	作者	制作年
	鯉	加藤東一	
	雄鶏	金島桂華	昭和44年 1969年
	牡丹	加山又造	昭和60年頃 1985年頃
	鯉	加山又造	
	龍図	加山又造	昭和63年 1988年
	竜神図	河鍋曉斎	明治初期
	蝗	木村武山	明治33年頃 1900年頃
	飛騨真春	久保嶺雨	平成2年 1990年
	四月の頃	郷倉千靱	昭和28年 1953年
	雀の宿	小杉放庵	昭和15年 1940年
	田園の朝松籟を聞く	児玉希望	昭和5年頃 1930年頃
	夕映	小林古径	
	鯉	小堀墨秀	平成元年 1989年
	清遊	下田義寛	昭和60年 1985年
	紙雛絵	高森碎敵	
	花鳥図	堂本印象	昭和25年頃 1950年頃
	渡宋菅神像図	富岡鉄斎	
	魚	中川一政	
	白衣観音	中村不折	昭和5年頃 1930年頃
	木蓮	沼田曼宏	平成元年 1989年
	帰牧	菱田春草	明治35年 1902年
	牡丹	前田青邨	昭和40年頃
	猫	前田青邨	
工芸	国宝 太刀 銘康次	康次	鎌倉時代
書	「をぐら山…」	安東聖空	昭和初期
	漢詩「藜杖全吾道」	池 大雅	江戸中期
	漢詩「花柳春至盛」	市河米庵	江戸後期
	漢詩	伊藤博文	明治
	四季の歌	岡山高蔭	大正・昭和
	漢詩「落花水暖千…」	勝海舟	江戸・明治
	清水比庵の歌	桑田笹舟	昭和初期～中期
	和歌散書	後深草天皇	
	高明	手島右卿	昭和
	いろは歌	伝・良寛	江戸後期
	猿丸集断簡	伝・藤原行成	平安後期
	智信仁勇敵	東郷平八郎	大正2年
	漢詩「新霽初之夕…」	中林梧竹	明治
	海舟先生座右銘	宮島詠士	明治・大正
	漢詩	頼 山陽	江戸後期
六字の対句	渡辺沙鷗	明治	

平成24年「夏」

分類	作品	作者	制作年
日本画	中国画屏風	陸翁井美嗣	
	御点前	伊東深水	昭和41年頃 (1966年頃)
	美人納涼図	上村松園	大正時代
	鯉	大谷園泉	昭和50年頃 (1975年頃)
	夏姿	鎬木清方	昭和15年 (1940年)
	麩の葉かげ	鎬木清方	昭和38年頃 (1963年頃)
	富貴盤	川端龍子	昭和33年 (1958年)
	鐘馗	小杉放庵	大正15年 (1926年)
	菜果図	小林古径	
	帰去来辞(陶淵明)	下村観山	大正初期
	梅が香	立石春美	
	月下漁夫図	谷文晁	寛政8年 (1796年)
	天覧盆栽図	富岡鉄斎	幕末～大正
	鹿図	富田溪仙	

分類	作品	作者	制作年	
	瀑布(流動)	菱田春草	明治34年 (1901年)	
	樹間の朝	福王寺法林		
	八ッ橋	牧進		
	花菖蒲	松下和代	平成3～4年 (1991～92年)	
	山下煙樹図	村上華岳		
	龍虎図	牧谿	文永6年頃 (1269年頃)	
	百合	山口華楊	昭和40年代後半 (1970～74年)	
	夏の山路	山元春挙	明治	
	月下の雁	横山大観		
	不二霊峰	横山大観	昭和11年頃 (1936年頃)	
	浮世絵	螢狩り	岩瀬京水	文政～安政 (1818～59年)
		精霊祭	川枝豊信	江戸中期
		精霊流し	川又常正	江戸中期
	書	南駅の女	作者不詳	江戸後期
		水鏡	春亭道人	江戸後期
天寿		市河米庵	江戸後期	
寿山		市河米庵	江戸後期	
歌に若松葉図		太田垣蓮月	江戸～明治	
「用ありといへども…」		大田蜀山人	江戸後期	
徒然草壹章		尾形乾山	江戸中期	
二行書		小坂奇石		
宝祚之隆天壤無窮		高橋泥舟	幕末	
漢詩「緑竹半含…」		武田霞洞	明治～大正	
和歌		伊達政宗	桃山～江戸初期	
鶴舞		手島右卿	昭和60年 (1985年)	
君が代		東郷平八郎	明治～昭和	
惟穆		西川春洞	明治	
勤皇志士		藤田小四郎	幕末	
藤原定家白筆書状	藤原定家	平安末期～鎌倉初期		
会津八一歌	堀桂琴	昭和49年 (1974年)		
南山壽	松林桂月	大正・昭和		
国を想う	山本五十六	昭和		

平成24年「秋」

分類	作品	作者	制作年	
浮世絵	簾をあげる女	歌川国重	文化1～文政12年 1804～29年	
	菊を見る女	歌川国久		
	砧打ち	観山斎洞月		
	酔余美人 A Drunken Woman	伝・祇園井特	江戸後期 Late Edo period	
	書を読む女	作者不詳		
	伊勢物語 Tales of Ise	作者不詳	江戸	
	遊女と芸者 Courtesan and Geisha	作者不詳	江戸中～後期 Mid or Late Edo period	
	雪中傘さし美人 A Woman Putting up an Umbrella in Snow	作者不詳		
	秋の月 The Moon in Autumn	月岡雪斎	江戸中～後期 (安永～天保10年) Mid or Late Edo period, ca.1772-1839	
	紅葉	月岡雪斎	江戸中期	
	菊を愛でる美人	抱亭北鷺	江戸後期	
	雪中傘さし美人 A Girl on a Bridge in Snow	宮川正幸	江戸中期 Mid-Edo period	
	紅葉の下	吉原真龍	江戸後期	
	書	漢詩「東召芳事已春深…」 Chinese Poem	巖谷一六	明治13～38年 Meiji period, 1880-1905

分類	作品	作者	制作年
	蹄雁詩 Chinese Poem	大島君川	明治~大正 Meiji or Taisho period, ca.1868-1925
	四季の歌(秋) Japanese Poem	岡山高蔭	大正~昭和 Taisho or Showa period
	一行書	貝原益軒	江戸前~中期(明暦2~正徳4年) Early Edo period, ca.1656-1714
	宸翰御消息 Letter by Emperor Go-Yozei	後陽成天皇	桃山~江戸初期(天正19~元和3年) Momoyama or Early Edo period, ca.1591-1617
	書簡 Letter	西郷隆盛	幕末 Late Edo period
	松島瑞巖寺に遊び葡萄栗鼠三木彫を見て	島崎藤村	明治30~昭和18年 Meiji, Taisho or Showa period, ca.1897-1943
	和歌 Japanese Poem	鈴木翠軒	昭和7~53年 Showa period, ca.1932-78
	住の江の古歌 Japanese Poem	田中堯堂	昭和30年代 Showa period, 1955-64
	和歌 Japanese Poem	土井晩翠	明治31年頃~大正 Meiji or Taisho period, ca.1898-1926
	高明	手島右卿	昭和 Showa period
	汀 Beach	徳野大空	昭和35年 Showa period, 1960
	「わだつみの…」 Japanese Poem	中村春堂	大正~昭和35年 Taisho or Showa period, 1912-60
	杜甫の詩 Poem by Toho	貴名松翁	江戸後期(安政5~文久3年) Late Edo period, ca.1858-63
	寿星拜日讃	柳沢淇園	江戸中期 Mid-Edo period
	漢詩「冬顔暄暖開…」 Chinese Poem	頼山陽	江戸後期 Late Edo period
	「おほ君の…」 Japanese Poem	若山牧水	大正後期~昭和初期 Late Taisho or Early Showa period

平成25年「通年」

分類	作品	作者	制作年
現代アート	おにぎり	須田剋太	昭和63年 Showaperiod, 1988
	京菓子	須田剋太	昭和58年 Showaperiod, 1983
	戸口へ急ぐ貴婦人たち	池田満寿夫	昭和38年 Showaperiod, 1963
	バイオリン Violin	池田満寿夫	平成5年 Heiseiperiod, 1993
	ノクターン Nocturne	ルホン	
	ハートアンドソウル HeartandSoul	ルホン	
	三人の人物1	アウレリア・ムニョス	1971
	三人の人物2	アウレリア・ムニョス	1971
	三人の人物3	アウレリア・ムニョス	1971
	襟付きケープ Cape	アウレリア・ムニョス	
	バンブースティック BambooStick	アウレリア・ムニョス	
	アベ・ブランカ	アウレリア・ムニョス	
	リプロ・シックス	アウレリア・ムニョス	

分類	作品	作者	制作年
	白い海 WhiteSea	アウレリア・ムニョス	1986
	無題 notitle	アウレリア・ムニョス	
	ペインティング Painting	アウレリア・ムニョス	
	インカへのオマージュ HomageforInca	アウレリア・ムニョス	
	テーブル Table	イヴ・クライン	
	麒麟 Kirin	池田満寿夫	
	y-古代夢幻	池田満寿夫	平成5年 Heiseiperiod, 1993
	y-頭龍	池田満寿夫	平成4年 Heiseiperiod, 1992
	y-青笛川	池田満寿夫	平成6年 Heiseiperiod, 1994
	浦島	池田満寿夫	
	緑陽	池田満寿夫	
	万葉人	池田満寿夫	
	舍利	池田満寿夫	
	癩痕	ズビネック・セカール	1976
	無題 notitle	ズビネック・セカール	1976~77
	ミツマタ備長炭オブジェ	保坂桂一	Heiseiperiod, 2001
	晴日 Fine Day	富永直樹	昭和59年 Showa period, 1984
	鯉	富永直樹	昭和51年
	松寿	富永直樹	
	天女の飛翔	北村西望	
	獅子吼	北村西望	昭和56年
	鮭寿想帰	北村西望	
	虎視眈眈	北村西望	
	CARDBIRD I	ロバート・ラウシェンバーグ	
	CARDBIRD II	ロバート・ラウシェンバーグ	
	CARDBIRD III	ロバート・ラウシェンバーグ	
	CARDBIRD IV	ロバート・ラウシェンバーグ	
	CARDBIRD V	ロバート・ラウシェンバーグ	
	CARDBIRD VI	ロバート・ラウシェンバーグ	
	CARDBIRD VII	ロバート・ラウシェンバーグ	
	カードバードドア CardbirdDoor	ロバート・ラウシェンバーグ	1971
洋画	アメリカ人闘牛士 マリアノ・セバージョス Mariano CEBALLOS, American Matador	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	1825年頃 ca.1925
	スピリアート夫人 Mrs. Spilliaert	カレル・ヴァン・ベル	1920年 1920
	画家とモデル Artist and Model	ギュスターヴ・コラン	19世紀 19c
	睡蓮	クロード・モネ	1900年頃 ca.1900
	岸辺の小舟(ヴィル・ダブレー) Avray Town, The Boat Leaving the River	ジャン=バティスト=カミーユ・コロー	1865~70年頃 ca.1865-1870
	木を拾う人 Man Collecting Wood	ジャン=バティスト=カミーユ・コロー	1855年頃-1875年 ca.1855-1875
	羊の居る風景 Landscape with Sheep	ジャン=バティスト=カミーユ・コロー	1869年 1869
	川の女神の姿をした婦人の肖像 Portrait of a Lady, as a River Goddess	ジャン=マルク・ナティエ	18世紀 18c
	白いドレスを着た娘	トーマス・ロス	19世紀 19c
	洗濯をする農婦 Peasant Woman Laundering	フィンセント・ファン・ゴッホ	1885年頃 ca.1885

分類	作品	作者	制作年
	海 The sea	モーリス・ド・ヴラマンク	1908年頃~55年 ca.1920-55
	ラ・フェルテ・ミロン城 The castle of La Ferte-Milon	モーリス・ユトリロ	1939年頃 Showa period, ca.1939
	薔薇図 Roses	梅原龍三郎	昭和16年 Showa period, 1941
	椿 Camellia	岸田劉生	昭和2年 Showa period, 1927
	熊の湯雪景 Snowscape of the Kumanoyu hot springs	熊谷守一	昭和12年頃~昭和52年 Showa period, ca.1937-77
	暑中休暇の校庭 School's ground in the Summer vacation	坂本繁二郎	大正4年 Taisho period, 1915
	冠鶴 A crowned crane	須田国太郎	昭和16年 Showa period, 1941
	千種百合 Lilies	中川一政	昭和20年頃~平成3年 Showa or Heisei period, ca.1945-1991
	粧える女 Woman, dressed up	林 武	昭和28年 Showa period, 1953
	海 The Sea	藤島武二	昭和8年 Showa period, 1933
	赤い花 Red Flower	三岸節子	
	婦人像 Portrait of a Lady	宮本三郎	昭和36年 Showa period, 1961
	栗とレンガと猿のこしかけ Chestnuts, brick and bracket funguses	山口薫	昭和25年頃~昭和43年 Showa period, ca.1950-68
	木蓮のある静物	武者小路実篤	昭和1年~51年頃 Showa period, Ca.1900-76

平成25年「春」

分類	作品	作者	制作年
浮世絵	市川鯉蔵の竹村定之進 Ichikawa Ebizo as Takemura Sadanoshin in the play Koinyobo Somewake Tazuna	東洲斎写楽	江戸後期 (寛政6~7年頃) Late Edo period, ca.1794-95
肉筆浮世絵	桜下美人 Two Beauties under a Cherry Blossoms	窪俊満	江戸後期 (天明~文化頃) Late Edo period, ca.1781-1818
	桜下美人 A Woman Sitting on a Cherry Tree	作者不詳(奥村派)	江戸中期 Mid-Edo period
	花軍 A Match by Beating Other Branches of Cherry-Blossoms	作者不詳 (川又派)	江戸中期
	縁先美人 A Woman on a Veranda	作者不詳 (近世初期風俗画)	
	桜下美人に曳かれる布袋 Hotei and Two Girls	作者不詳 (西村・石川派)	江戸中期 Mid-Edo period
	吉原仲之町春景 A Spring Scene at Naka-no-machi in Yoshiwara	作者不詳 (西村・石川派)	江戸中期 Mid-Edo period
	桜下遊宴 A Cherry Blossoms Viewing Picnic	作者不詳(菱川派)	
	遊女道中 Woman and Attendants	作者不詳 (宮川派)	
	廓内遊興 A Spring Scene in a Gay Quarters	作者不詳 (宮川派)	
	桜下美人 Beauty and Attendant under Cherry Blossoms	鳥文斎栄之	江戸後期 (寛政~文政) Late Edo period, ca.1789-1829
	花吹雪 Flowers Fluttering in the Wind	三島上龍	江戸後期 (天保頃) Late Edo period, ca.1830-43
	桜下美人 A Girl on a Bench under Cherry Blossoms	宮川一笑	江戸中期 Mid-Edo period

分類	作品	作者	制作年
工芸	品川遊興 A Party in a Tea House at Shinagawa	養俊	江戸後期 Late Edo period
	桜図 (着物) Cherry Blossoms [Kimono]	今井俊満	昭和63年 Showa period, 1988
	雲上不二のれん	芹沢銈介	昭和42年 Showa period, 1967
	笹文のれん	芹沢銈介	昭和48年 Showa period, 1973
	国宝 太刀 銘康次 Tachi: Long Sword Forged by Yasutsugu	康次	鎌倉時代 (建暦頃) Kamakura period, 13th century
書	漢詩	伊藤博文	明治
	我忘吾	熊谷守一	
	鳥栖書	仙崖	江戸後期
	宝祚之隆天壤無窮 As Eternal as Heaven and Earth	高橋泥舟	幕末 (嘉永6~明治元年) Late Edo period, ca.1853-68
	和歌	伊達綱村	江戸前~中期
	鳴門 A whirlpool located in the Naruto Strait	手島右卿	昭和62年 Showa period, 1987
	猿丸集断簡 Fragment from the Anrhology of Sarumaru	伝・藤原行成	平安中期 Mid-Heian period, ca.982-1027
	和歌「さびしさに…」 Japanese Poem	殿村藍田	昭和~平成10年 Showa or Heisei period, ca.1926-98
	「愛は自然なり…」	野口雨情	大正~昭和 Taisho or Showa period
	会津八一の歌 Poem by Aizu Yaichi	堀桂琴	昭和49年 Showa period, 1974
	和歌	松平定信 (樂翁)	江戸後期
	海舟先生座右銘 A Motto of Kaishu	宮島詠士	明治~大正 Meiji or Taisho period
	書簡	横山大観	大正初期

平成25年「夏」

分類	作品	作者	制作年
日本画	初日 The First Sunrise of the year	小川芋銭 Ogawa Usen	大正5年頃 Taisho period, ca.1916
	日之出と大黒像 Sunrise and Portrait of Mahakala	荻原井泉水 Ogiwara Seisensui	大正10年頃 Taisho period, ca.1921
	鳴戸	狩野永真 Kano Eishin	江戸前期 Early Edo period
	花鳥図 Flowers and Birds	狩野栄信 Kano Naganobu	江戸中~後期 Mid or Late Edo period
	梅に鷹之図 (打なびき) Hawk on the apricot tree	狩野梅笑 Kano Baisho	寛政7年 1795
	黒馬 Black Horse	狩野益信 Kano Masunobu	江戸中期 (元禄) Mid-Edo period, 1688-1703
	にわとり Two Chickens	狩野安信 Kano Yasunobu	江戸前期 Early Edo period
	山居 Mountain Dwelling	狩野知信 (尚玄斎) Kano omonobu(Shogensai)	江戸後期~明治前期 Late Edo or Early Meiji period, ca.1816-1884
	天竺牡丹之図	岸田劉生 Kishida Ryusei	大正11年 Taisho period, 1922
	金太郎 Kintaro	小杉放庵 Kosugi Hoan	昭和12年 Showa period, 1937
	たいざん木 Magnolia	小杉未醒 Kosugi Misei	明治36~昭和3年 Meiji Early or Showa period, ca.1903-1929
	牡丹双鳩 Pigeons and Peony	児玉希望 Kodama Kibo	
	石榴小禽図 Bird on the Pomegranate tree	榊原紫峰 Sakakibara Shiho	大正12~13年頃 Taisho period, ca.1923-1924

分類	作品	作者	制作年
	聖徳太子絵巻	作者不詳 Artist Unknown	鎌倉時代 Kamakura period, 1192-1333
	春紅 Spring Crimson	佐多芳郎 Sata Yoshiro	昭和59年 Showa period, 1984
	義経 Yoshitsune	佐多芳郎 Sata Yoshiro	昭和 Showa period
	雪中山水	高久露崖 Takaku Aigai	江戸後期 Late Edo period
	臨水観音丈土図	高森碎巖 Takamori Saigan	明治~大正 Meiji or Taisho period
	香富貴 Peony	竹内栖鳳 Takeuchi Seiho	昭和5~10年頃 Showa period, ca.1930~35
	はは木々	土佐光起 Tosa Mitsuki	江戸前期(寛文頃) Early Edo period, 1661-72
	猛虎 Tiger	中原南溪 Nakahara Nankei	
	風景 Landscape	中平南海 Nakahira Nankai	
	松泉清聴の図	橋本関雪 Hashimoto Kansetsu	明治~昭和 Meiji or Showa period
	帰牧 Returning from the Pasture	菱田春草 Hishida Shunso	明治35年 Meiji period, 1902
	小春日和 Indian Summer	前田青邨 Maeda Seison	
	住吉ものがたり	松岡映丘 Matsuoka Eikyu	
	御如意法輪大施無畏尊図 On Nyoi Horin Dai Semui Son	棟方志功 Munakata Shiko	昭和35~38年頃 Showa period, ca.1960-63
	風神雷神図 The Gods of Wind and Thunder	棟方志功 Munakata Shiko	昭和21年 Showa period, 1946
	牡丹図 Peonies	村上華岳 Murakami Kagaku	大正10年 Taisho period, 1921
	浅峰山水図	村瀬秋水 Murase Shusui	
肉筆浮世絵	岩井糸三郎と尾上栄三郎 The Actor Iwai Kumeaburo and Onoe Eizaburo	歌川国満 Utagawa Kunimitsu	江戸後期(天明8年~享和) Late Edo period, 1788-1803
	犬と遊ぶ美人 Two Girls and a Japanese Pug in a Garden	歌川国宗 Utagawa Kunimune	江戸後期 Late Edo period
	予讓 Yojo (The Assassin)	葛飾北斎 Katsushika Hokusai	江戸後期(弘化3年) Late Edo period, 1846
	黒木売 A Peddler	作者不詳(葛飾派) Artist unknown	江戸後期 Late Edo period
	大原女Peddlers	作者不詳(京洛諸画人) Artist unknown	
	猫と戯れる女 A Woman Playing with a Cat	作者不詳(近世初期風俗画) Artist unknown	
	牛若丸と弁慶 Ushiwakamaru and Benkei	作者不詳(初期肉筆浮世絵諸画人) Artist unknown	
	美人と犬 A Woman and a Dog	比君斎	
	美人と犬 A Woman and a Dog	松月	
	男舞 A Dancer in Male Attire	月岡雪鼎 Tzukioka Settei	江戸中期(明和2~安永元年) Mid-Edo period, 1765-72
	白拍子 A Dancer	月岡雪鼎	江戸中~後期(宝暦~天明6年) Mid-Edo period, ca.1751-86
	二世中村七三郎 The Actor Nakamura Shichisaburo II	東川堂里風	
	遊女と猫 A Woman and a Cat	梅翁軒春信	
	男舞 A Dancer in Male Attire	白玉斎	江戸 Edo period
	黒木売 A Peddler	鳳亭北英	江戸後期 Late Edo period

分類	作品	作者	制作年
書	雄志 High Ambition	石川雲鶴	平成9年 Heisei period, 1997
	天聴	伊藤千勝	
	神苑の朝 Morning in the Precincts of a Shrine (Japanese poem)	川合玉堂	昭和13年 Showa period, 1938
	和歌 Japanese Poem	北川佳邑	
	ひだ海老坂	熊谷守一	
	文章千古事 Poem by Toho	徳川慶喜	
	杜甫の詩 Poem by Toho	貫名菘翁	江戸後期(安政5~文久3年) Late Edo period, ca.1858-63
	漢詩「黒風萬騎巻…」 Poem in Classical Chinese	比田井天来	明治30年頃~45年 Meiji period, ca.1897-1912
工芸	飛びの字のれん	芹沢銈介 Serizawa Keisuke	昭和43年 Showa period, 1968
	風の字のれん	芹沢銈介 Serizawa Keisuke	昭和32年 Showa period, 1957

平成25年「秋」

分類	作品	作者	制作年	
肉筆浮世絵	見立紫式部 A Parody of Murasaki Shikibu	歌川国久	江戸後期(享和~文化) Late Edo period, 1801-17	
	松風村雨 The Sisters Matsukaze and Murasame	歌川豊春	江戸中~後期(明和~文化11年) Middle or Late Edo period, ca.1764-1814	
	金太郎 Kintaro	勝川春英	江戸中~後期(安永~文化) Middle or Late Edo period, ca.1772-1817	
	弁慶 Benkei Carrying a Temple Bell	勝川春英	江戸中~後期(安永~文化) Middle or Late Edo period, ca.1772-1817	
	見立遣唐使 Parody of Japanese Envoy to China in the Tung Dynasty	川又常行	江戸中期	
	夫人像(おまんの方) A Woman's Portrait	作者不詳(近世初期風俗画)		
	見立胡蝶の夢 A Woman as Soshi Dreaming of a Butterfly	作者不詳(鳥居派)	江戸中~幕末(元禄~慶応3年) Middle or Late Edo period, ca.1688-1867	
	江口の君 Parody of the Tale of Courtesan Eguchi-no-Kimi and the Poet Saigyō	作者不詳(西川派)	江戸中期(元禄~享保頃) Mid-Edo period, ca.1688-1735	
	業平涅槃図 Narihira's Death Parodying Buddha's Death	作者不詳(宮川派)		
	小野小町 The Female Poet Ono-no-Komachi	鳥文斎栄之	江戸後期(寛政~文政) Late Edo period, ca.1789-1829	
	佐保姫 Princess Saho as the Goddess of Spring	月岡雪斎	江戸中~後期(安永~天保10年) Mid or Late Edo period, ca.1772-1839	
	見立清少納言 Parody of Seisho Nagon	吉原真龍	江戸後期(天保~弘化) Late Edo period, 1830-47	
	工芸	秋草図 Autumn Flowers [Kimono]	今井俊満	昭和63年 Showa period, 1988
		切付札二枚胴童具足	十代宗矩公	
赤富士のれん		芹沢銈介	昭和42年 Showa period, 1967	
	一本松のれん	芹沢銈介	昭和30年 Showa period, 1955	

〈能舞台〉

能・狂言は約700年もの間守り継がれてきた日本の伝統芸能である。能舞台、能面、能装束などの展示や解説を通して、目に見えない世界や幽玄の世界をも表現する能の、深奥で研ぎ澄まされた芸術性や、人間の本质を突く喜劇 狂言の面白さを伝える。

また、能・狂言に限らず、能舞台上で日本の伝統芸能を披露することもある。

特別展示

広重 東海道五十三次展

開催期間

平成24年2月26日(日)～6月5日(火)

作品点数

55点

後援

岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、(社)高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

展示概要

1832(天保3)年、広重は初めて東海道(江戸から京都まで)を旅した。毎年8月に行われていた幕府が朝廷に御馬を献上する「八朔御馬献上の儀」の記録絵師として、一行の行列に加わったといわれている。そして、その時のスケッチと既に世に出ている『東海道名所図会』などを参考にして、広重は55枚の浮世絵版画シリーズ53の宿場と始点(江戸の日本橋)と終点(京都の三条大橋)を描いた。保永堂版『東海道五十三次』は街道を描いた風景画として爆発的な人気を得、これにより広重は浮世絵界における不動の地位を手に入れたのである。

広重の出世作・代表作である保永堂版『東海道五十三次』の魅力をご堪能いただいた。



展示の様子





展示作品

作品	作者	制作年
日本橋(朝之景)	歌川広重	江戸後期
品川(日之出)	//	//
川崎(六郷渡舟)	//	//
神奈川(台之景)	//	//
保土ヶ谷(新町橋)	//	//
戸塚(元町別道)	//	//
藤沢(遊行寺)	//	//
平塚(縄手道)	//	//
大磯(虎ヶ雨)	//	//
小田原(酒匂川)	//	//
箱根(湖水図)	//	//
三島(朝霧)	//	//
沼津(黄昏図)	//	//
原(朝之富士)	//	//
吉原(左富士)	//	//
蒲原(夜之雪)	//	//
由井(薩ヶ嶺)	//	//
奥津(興津川)	//	//
江尻(三保遠望)	//	//
府中(安部川)	//	//
鞠子(名物茶店)	//	//
岡部(宇津之山)	//	//
藤枝(人馬継立)	//	//
嶋田(大井川駿岸)	//	//
金谷(大井川遠岸)	//	//
日坂(佐夜ノ中山)	//	//
掛川(秋葉山遠望)	//	//
袋井(出茶屋ノ図)	//	//

作品	作者	制作年
見附(天竜川図)	歌川広重	江戸後期
浜松(冬枯ノ図)	//	//
舞坂(今切真景)	//	//
荒井(渡舟ノ図)	//	//
白須賀(夕見阪図)	//	//
二川(猿ヶ馬場)	//	//
吉田(豊川橋)	//	//
御油(旅人留女)	//	//
赤坂(旅舎招婦ノ図)	//	//
藤川(棒鼻ノ図)	//	//
岡崎(矢矧之橋)	//	//
池鯉鮒(首夏馬市)	//	//
鳴海(名物有松絞)	//	//
宮(熱田神事)	//	//
桑名(七里渡口)	//	//
四日市(三重川)	//	//
石薬師(石薬師寺)	//	//
庄野(白雨)	//	//
亀山(雪晴)	//	//
関(本陣早立)	//	//
阪之下(筆捨嶺)	//	//
土山(春之雨)	//	//
水口(名物干瓢)	//	//
石部(目川ノ里)	//	//
草津(名物立場)	//	//
大津(走井茶店)	//	//
京師(三条大橋)	//	//

北大路魯山人と陶芸展

開催期間

平成24年6月14日(木)~9月4日(火)

作品点数

約50点

後援

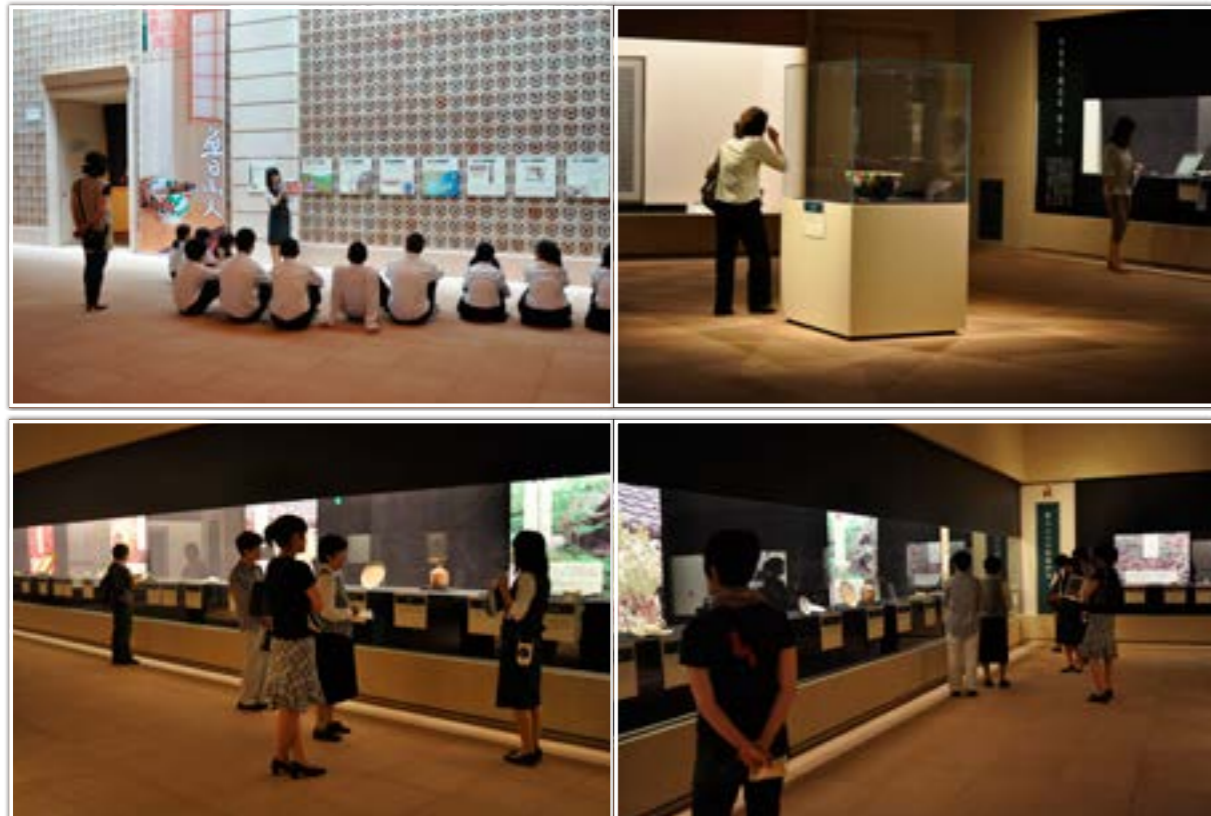
岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、(社)高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

展示概要

「食器は料理の着物」と語り、料理を引き立たせる為にさまざまな陶芸を手がけた北大路魯山人。直径40cmもある色絵の大作『つばき鉢』『雲錦大鉢』をはじめ、魯山人の作品約20点と当館所蔵の陶芸約10点を展示し、陶芸の魅力をご紹介します。



展示の様子



展示作品

陶器	作品	作者	制作年
	色絵紅葉文木葉形鉢	北大路魯山人	大正~昭和
	雲錦鉢図	//	昭和10年代
	つばき鉢	//	昭和13年
	雲錦大鉢	//	昭和16年
	染付福の字皿	//	昭和14年
	備前花入	//	昭和
	織部釉陶硯	//	
	鉄刷毛目叩き小皿	//	
	銀刷毛目櫛描備前葛蒲絵銘々皿	//	
	銀刷毛目櫛描備前薄絵銘々皿	//	
	銀三彩蟹彫文大平鉢	//	
	備前土長方皿	//	
	赤絵汁次	//	
	織部汁次	//	
	織部鉢	//	
	絵瀬戸格子文台皿	//	
	信楽シノギ	//	
	銀彩徳利	//	
	赤呉須黄瀬戸ぐい飲み	//	
	赤志野草文ぐい飲み	//	
	金欄手赤玉向付	//	
	色絵縁書古字文額皿	//	
	色絵この葉形平鉢	//	
	篆刻屏風「赤壁賦」拓本	//	
	織部釉長方皿	//	
	根来盆	//	
	志野茶碗 銘「紫雲」	//	昭和57年
	絵志野茶碗 銘「閑居」	//	昭和
	白地草花図扁壺	河井寛次郎	
	琉球双耳水注	金城次郎	
	三色線文茶碗	富本憲吉	昭和10年
	呉須布賦文茶碗	//	昭和23年
	染付大和村絵皿	//	
	仁清手楽茶碗 銘「桔梗」	17代 永楽善五郎	昭和~平成
	青文趾松葉彫菱皿	//	
	黒手茶碗 銘「磯尻」	弘入	
	高麗象嵌青磁茶碗	作者不詳	12世紀中葉
	古瀬戸尊式花入	//	鎌倉時代
	黒織部沓型茶碗 銘「千鳥」	//	桃山時代
	織部振出し	//	//
	古黄瀬戸旅枕花入	//	//
	古志野雪割草香合	//	//

	作品	作者	制作年
	織部向付	作者不詳	桃山時代～江戸時代初期
	古志野平茶碗	作者不詳	江戸時代中期
	京焼仁清写色絵若松椿図茶碗	作者不詳	江戸時代
	浄心	島岡達三・奥村土牛	昭和32年頃
	絵唐津	作者不詳	明治時代
	備前花入	藤原雄	
	日本画	紅椿	奥村土牛
	香富貴	竹内栖鳳	昭和5～10年頃

横山大観と日本美術院の画家たち ～近代日本画界の牽引者たち～

開催期間

平成25年2月27日(水)～6月4日(火)

作品点数

37点

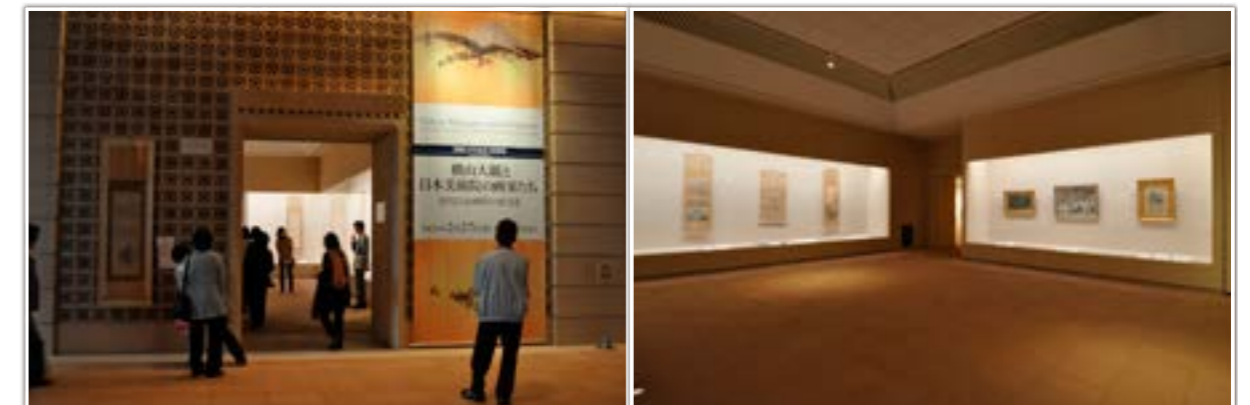
後援

岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、(社)高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

展示概要

光ミュージアムの開館15年と横山大観の没後55年を記念して開催した。長らく所在不明であった初期の珍しい女性画『行く春』を始め、館所蔵品18点により大観の魅力を紹介。また、岡倉天心の指導のもとに日本美術院を創設した橋本雅邦、菱田春草、下村観山、天心亡き後の再興日本美術院で活躍した安田靉彦、前田青邨らの作品も一堂に展示し、明治維新による文明開化以降、新しい日本画の創造に励み、近代日本画界を牽引してきた画家たちの軌跡をご覧いただいた。

展示の様子





分類	作品	作者	制作年
	溪村暎露図	橋本雅邦	明治
	湖辺	菱田春草	明治35年
	渡舟図	//	明治33年頃
	武将	前田青邨	昭和5年頃
	薄紅梅	//	大正12~15年頃
	観音	安田靫彦	大正14年頃
	新雪	酒井三良	
	樹間の朝	福王子 法林	
	紅椿	奥村土牛	

展示作品

分類	作品	作者	制作年
屏風	三保之不二山	横山大観	昭和28年頃
	蓬萊山	//	昭和14年頃
	乾坤耀く	//	昭和18年
	竹林	//	昭和29年頃
	秋の月	//	明治33年頃
	不盡山	//	大正9年
	海浜	//	明治36年
	怒涛	//	明治34年頃
	行く春	//	明治33年
	暮色	//	大正中期~昭和初期
	月下の雁	//	大正2年頃
	春光	//	昭和10年頃
	暁暎	//	昭和19年
	不二霊峰	//	昭和11年頃
	不二霊峰	//	昭和11年頃
	龍蛟躍四溟	//	昭和11年頃
	書簡	//	大正初期
	秋色	//	昭和18年頃
	嵐山	//	
	郊霽	小川芋銭	昭和5年頃
	さつき	//	大正5年頃
	早春	堅山南風	昭和3~5年
	蝗 (バッタ)	木村武山	明治33年頃
夕映	小林古径		
雪の大原	小松均	平成元年	
帰去辞来	下村観山		
武陵桃源	//	明治22年頃~昭和5年	

上村松園と清方・深水展

開催期間

平成25年9月14日(土)~12月10日(火)

作品点数

32点

後援

岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、(社)高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

展示概要

開館15年を記念し、特別展「上村松園と清方・深水展」を開催致した。明治時代以降、日本画のジャンルの一つとして確立した「美人画」。本展では近代日本を代表する美人画家 上村松園、鍋木清方、伊東深水の魅力に迫った。研究者にも存在が知られていなかった幻の作品『紫式部図』を始め、松園10点、清方15点、深水6点、当館のコレクションより美人画の秀作をご堪能いただいた。



展示の様子



展示作品

分類	作品	作者	制作年
日本画	雪うさぎ	伊東深水	昭和初期
	秋晴	//	
	晴れ間	上村松園	昭和14~15年頃
	富士	小川芋銭	大正11年頃
	春秋屏風	小野竹喬	
	紅葉	鍋木清方	昭和22年頃
	立田の錦	//	
	湖山月明	川合玉堂	昭和2年
	山村積雪	//	明治末
	山鳥	川村憲邦	昭和~平成
	飛騨真秋	久保嶺爾	平成2年
	行灯	小早川清	
	新雪	酒井三良	昭和24~25年
	聖観自在菩薩	佐多芳郎	昭和59年
	黄花岗鶴図	高森碎巖	幕末~大正
	冬晴	竹内栖鳳	昭和10年頃
	瑞光	田中以知庵	昭和20年頃
	舞妓	寺島紫明	
	麒麟図	富田溪仙	大正14年
	秋鹿	中川一政	昭和~平成
	秋趣	橋本雅邦	明治10年頃
	敵島	前田青邨	大正6年頃
	紅椿	森白甫	
	紅葉図	村上華岳	大正5年
	乾坤燿く	横山大観	昭和18年
	暁漱	//	昭和19年
	風景四季図(秋)	葛飾北斎	天保3年

企画展示 美術部門

近代日本画のうつろい秋から冬へ ～大観・栖鳳・玉堂・松園・清方 他～

開催期間

平成24年9月13日(木)～12月11日(火)

作品点数

27点

後援

岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、(社)高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

展示概要

日本人は古来より四季の移り変わりに敏感であり、また、お花見や紅葉狩り等季節ごとに自然に親しんできた。本展覧会では、光ミュージアムが所蔵する美術品約2000点の中から近代日本画を中心に、秋・冬の作品27点を展示した。



展示の様子



展示作品

分類	作品	作者	制作年
日本画	雪うさぎ	伊東深水	昭和初期
	秋晴	伊東深水	
	晴れ間	上村松園	昭和14～15年頃
	富士	小川芋銭	大正11年頃
	春秋屏風	小野竹喬	
	紅葉	鐺木清方	昭和22年頃
	立田の錦	鐺木清方	
	湖山月明	川合玉堂	昭和2年
	山村積雪	川合玉堂	明治末
	山鳥	川村憲邦	昭和～平成
	飛騨真秋	久保嶺雨	平成2年
	行灯	小早川清	
	新雪	酒井三良	昭和24～25年
	聖観自在菩薩	佐多芳郎	昭和59年
	黄白鶴図	高森碎巖	幕末～大正
	冬晴	竹内栖鳳	昭和10年頃
	瑞光	田中以知庵	昭和20年頃
	舞妓	寺島紫明	
	麒麟図	富田溪仙	大正14年
	秋鹿	中川一政	昭和～平成
	秋趣	橋本雅邦	明治10年頃
	巖島	前田青邨	大正6年頃
	紅椿	森白甫	
	紅葉図	村上華岳	大正5年
	乾坤燿く	横山大観	昭和18年
	暁暎	横山大観	昭和19年
	風景四季図(秋)	葛飾北斎	天保3年

第5回世界現代木彫根付芸術祭

開催期間

平成24年9月13日(木)～12月11日(火)

作品点数

24点

主催

日本木彫芸術文化財団

会場提供

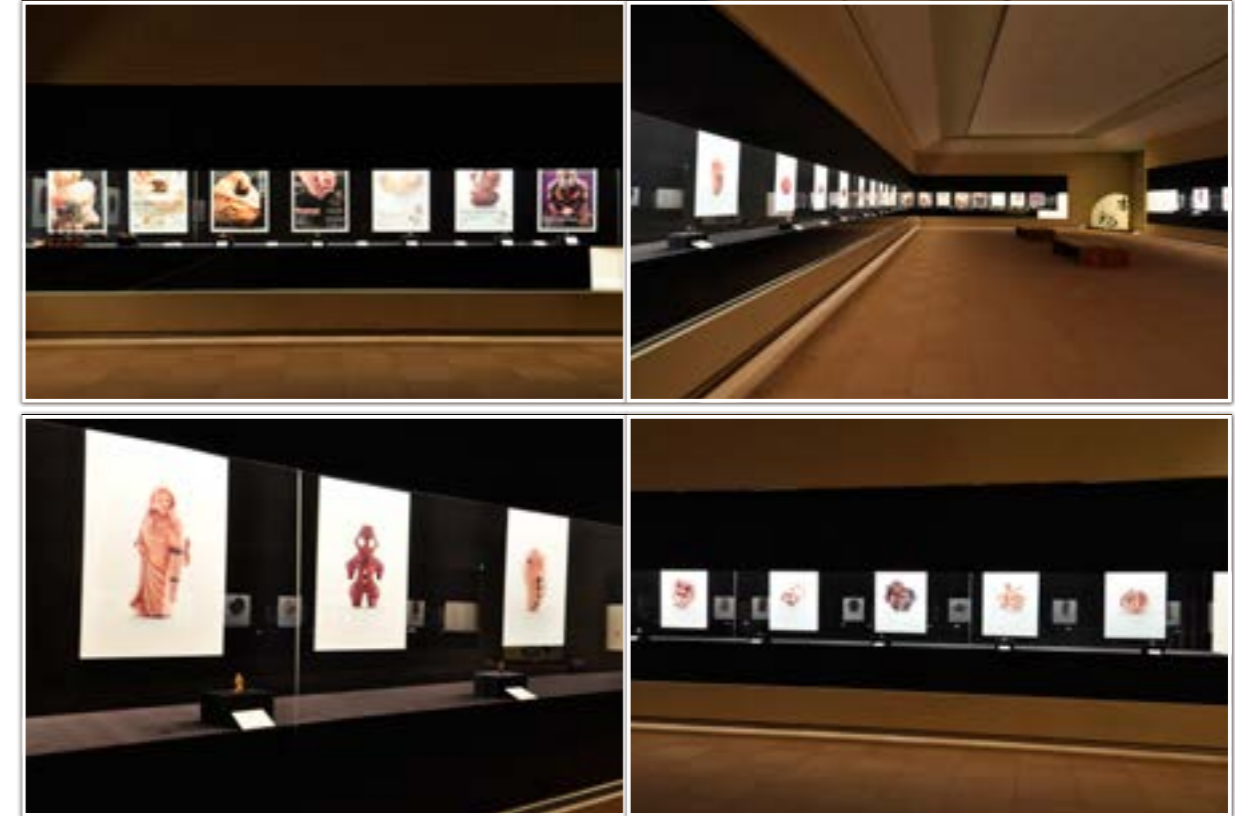
光ミュージアム

展示目的

現代感覚の木彫芸術の推奨と作家の育成の為、平成22年に「日本木彫芸術文化財団」が設立された。当館では財団主催の芸術祭に会場提供を行っており、今年で5回目となる。

木彫芸術のひとつ“根付”は、江戸時代に芸術性と遊び心を表現する精緻な工芸品として完成されたが、その後着物と共にすたれ、現在は愛好家の観賞品となってしまった。本展の目的は、この根付を現代生活に即した「用の美」として復興させることにある。このコンセプトに適い受賞・入賞した新鋭の作家たちの、個性あふれる作品を是非ご覧いただいた。

展示の様子



展示作品

資料名	地域	時代・文化
千天慈雨	加賀美光訓	大賞
学び(これなーに)	福本正則	最優秀賞
でんでん太鼓	田神十志	優秀賞
石持ち	藤川光斉	京都清水寺賞
食べても大丈夫?	和弘	奨励賞
独り	大竹亮輔	特別賞
つかまえた!	セイヤーズ知永子	
チャ・チャ・チャ(茶・茶・茶)	三本木桂子	
時々・・・ご褒美	三本木桂子	
俺もスカイツリーを作りたかった	三本木昭一	
のぞき巳	佐々木元	
いのち	佐々木元	
祈り	下保木成子	
おっーとっー豆	田中俊晴	
雪の辻君	中川東平	
駿自慢	金井正雄	
雪輪桜	金井正雄	
縄文からの目ッセージ	高木睦仙	
運づくし	藤川光斉	
いも虫コロコロ	和明	
桜彩漆花唐草吹蛙	富澤正志	
栄光	下屋孝雄	
アンビリバボー ハエが止まるパンチなのに	一英	

第6回 世界現代木彫NETSUKE芸術祭

開催期間

平成25年9月21日(土)~11月19日(火)

作品点数

30点

主催

日本木彫芸術文化財団

会場提供

光ミュージアム

展示目的

現第6回を迎える『世界現代木彫NETSUKE芸術祭』は、今回から新たに「創作小物」部門が加わった。現代生活に即した木彫根付とアクセサリー、新鋭の作家たちの個性あふれる作品をご覧いただいた。



展示の様子



展示作品

分類	資料名	地域	時代・文化
根付	獅師の良心	中川東平	大賞
	鬼のカミだのみ	田神十志	最優秀賞
	いなし童子	福本正則	優秀賞
	難転家守	富澤正志	京都清水寺賞
	かえるの合唱 花は咲く	下保木成子	奨励賞
	バンザイ モーちゃん	竹内健二	特別賞
	行きたい所へ	三本木桂子	
	かぼのアベノミクス(大儲け)	三本木昭一	
	かぼの逆アベノミクス(大損)	//	
	抱擁	西蛙	
	希望の和	佐々木元	
	蓑亀	田中俊晴	
	冬籠り	下屋孝雄	
	浄土	藤川光斉	
	片思い	万征	
	梅拭漆沈金 獅子	富澤正志	
	創作小物部門	白沢	東勝廣
帰る船		東勝廣	協賛出品
ダリア		中川忠峰	協賛出品
頭虫花草		大竹亮輔	特別大賞
想う		西野史江	優秀賞
蛸		大竹亮輔	
フラワーフェイス		富澤正志	
龍		和典	
離さないで		三本木桂子	
さくらブローチ 髪飾り		東直子	
木浅れ日		西野史江	
花音玉		村田美枝子	
ゆびとん		村田美枝子	
木猫	西野史江		

企画展示 飛騨部門

飛騨地方の活断層と地震展

開催期間

平成24年2月26日（日）～12月11日（火）

展示目的

前年に起こった東北地方太平洋沖地震をうけ、防災意識の高まりつつある中、飛騨地域においても起こりうる内陸型地震に対しての造詣を深めていただく事を目的として開催。

展示概要

活断層についての説明と共に、飛騨地方にある活断層とその史実や今後の発生確率を紹介した。
また、地震の種類やメカニズム、マグニチュードと震度などの基礎的な情報を参考パネルとして展示することで、地震についての基礎知識を補完した。
ただ、この展示はいたずらに恐怖心を助長させることのないよう配慮し、今後の防災意識の啓発をかねて「地震と向き合う防災のすすめ」と題した地震対策用の展示を併せて行なった。

監修・後援

後援：岐阜県教育委員会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、岐阜県博物館協会、（社）高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM、（財）自然史科学研究所、日本地質学会

監修者：下畑五夫(元岐阜県博物館館長)

協力：国土交通省 北陸地方整備局 神通川水系 砂防事務所、高山市役所基盤整備部維持課、Hits FM、NPO法人 砂防広報センター

展示資料

- ・活断層の3D地図
- ・子供向け非常持ち出しパズル
- ・非常用品
- ・立体地図模型
- ・高山市ハザードマップ
- ・都市圏活断層図

配布物

学習補助資料

- ・活断層の3D地図（活断層と恐竜の3Dシート、3Dメガネ、注意書き、保護者向け解説シート）



飛騨地方の火山展

開催期間

平成25年2月27日（水）～12月10日（火）

展示目的

三陸沖地震以来、富士山をはじめとする火山の活動に関心が高まる中、岐阜県では焼岳や乗鞍岳などが話題に上がっていることを踏まえ、火山を自然科学の知見から紹介することで、知識と感心を深め自然災害への意識を高めていただくことを目的とした。

展示概要

火成岩や火山噴出物の資料を展示し、活火山の定義や日本にはなぜ火山が多いのかを解説し、理解を深めていただけるようにすると共に、大地震のあとに起こった火山噴火の事例、身近な山々である焼岳の噴火と災害や史書中の乗鞍火山なども紹介した。

また、災害事例だけではなく火山活動による飛騨の自然景観や火山がもたらす恩恵についても触れた。

監修・後援

後援：岐阜県、岐阜県教育委員会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、岐阜県博物館協会、日本地質学会、（社）高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

監修者：下畑 五夫

協力

小野木三郎、国土交通省 北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所、岐阜県博物館、気象庁、国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所、NPO法人環境防災総合政策研究機構 理事 岡田弘、NPO法人環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所長 藤井敏嗣、高山市上宝支所、下呂市役所 観光商工部 観光課、（独）産業技術総合研究所 及川輝樹、焼岳火山噴火対策協議会、（一社）奥飛騨温泉郷観光協会、（独）産業技術総合研究所 地質調査総合センター、内閣府、日本地質学会、飛騨農業協同組合、岐阜新聞社

展示資料

-岩石関係-

岐阜県博物館借用

- ・花崗岩
- ・閃緑岩
- ・斑レイ岩
- ・安山岩（スコリア）
- ・玄武岩
- ・デイサイト
- ・流紋岩
- ・スコリア
- ・柱状節理

当館所蔵

- ・乗鞍火山噴出物
- ・玄武岩
- ・安山岩2点
- ・流紋岩
- ・火山弾4点

・上宝火砕流堆積物

個人蔵

・有珠山火山灰

－その他－

- ・立体地図
- ・地球儀
- ・地球内部構造地球儀

－参考資料－

・書籍



太陽系と隕石展

開催期間

平成25年7月20日（土）～9月1日（日）

展示目的

当年にロシア・チェラビンスクに隕石が落下したことから、隕石に対する興味を示す来館者が増えていることをうけ、常設展とは視点の異なった太陽系と隕石の関係について解説することを目的とした。

展示概要

来館者に自由に触れていただけるアエンデ隕石を展示の中心にして、隕石の種類や太陽系の年齢などを解説する展示を行った。また、太陽を2.5mのイラストで解説し同縮尺の惑星模型を展示することで惑星の大きさや距離などを実感していただく展示を行い、小惑星帯も表示することで隕石の起源を説明した。また、岐阜県内に落下した美濃隕石や月由来の隕石を展示したほか、太陽系トリビアや隕石の特徴を解説するための「隕石ハンター体験」などの体験展示も併せて行った。

監修・後援

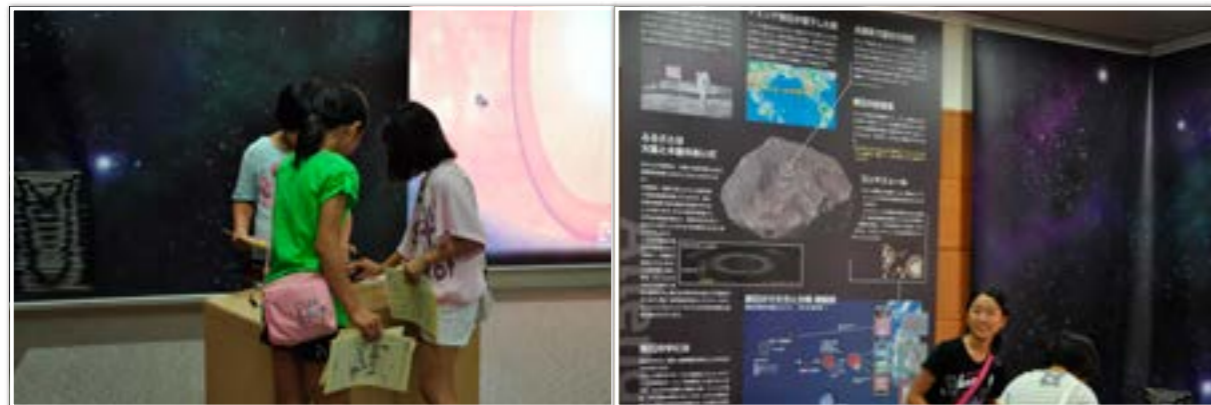
協力：岐阜県博物館

展示資料

- ・美濃隕石 1点（岐阜県博物館より借用）
- ・月隕石 1点（当館所蔵）
- ・アエンデ隕石 1点（当館所蔵）
- ・隕石ハンター体験(カンポデルシエルほか5点)

配布物

- ・アエンデ隕石を触った方全員に対して…ハンズオン証明書
- ・小学生以下の幼児児童…絵ハガキ



飛騨展示室リニューアル（一部）

展示目的

より分かり易い展示を目的とし、地球の誕生から生命の星になるまでの冥王代をコンパクトにまとめ、飛騨地方より見た古生物や地質を解説する古生代へと導入する。

展示概要

隕石資料15点を新たに展示に加え、隕石についての解説も追加を行った。
地球が小惑星のような小天体からできあがったこと、太陽系で唯一生命の星となったことを解説する展示を行った。また新たな試みで、幼児・児童向けのイラストパネルを加えた。

監修・後援

協力：岐阜県博物館

展示資料

展示資料：－隕石－所蔵資料…15点

・ Allende（アエンデ）
球粒隕石（炭素質コンドライト） CV3
メキシコMexico
1969/2/8
落下
1910g（総重量 約3t）

・ Murchison（マーチソン）
球粒隕石（炭素質コンドライト） CM2
オーストラリアAustralia
1969/9/28
落下
147g（総重量 100Kg）

・ Kesen（気仙）
球粒隕石（普通コンドライト） H4
岩手県陸前高田市気仙町Japan
1850/6/12
落下
83.5g（総重量135Kg）

・ Northwest Africa 1222（北西アフリカ1222）
球粒隕石（エンスタタイトコンドライト） EL5
モロッコ（サハラ砂漠） Morocco
1999
発見
122g（総重量2.8Kg）

・ Zhovtnevyi（ゾフセヴィ）
球粒隕石（普通コンドライト） H5

ウクライナ共和国Ukraine
1938/10/10
落下
231g（総重量107Kg）

・ Kunashak(クナシャク)
球粒隕石（普通コンドライト） L6
ロシア連邦Russia
1949/6/11
落下
338g（総重量200Kg）

・ Northwest Africa 176（北西アフリカ176）
鉄隕石（アンググループド）
モロッコ/アルジェリア国境Morocco/Algeria Border
1999
発見
22.7g（総重量2Kg）

・ Northwest Africa 1242（北西アフリカ1242）
石鉄隕石（メソシデライト） EL5
リビア共和国Libya
1985
発見
8.9g（総重量7Kg）

・ Northwest Africa 1648（北西アフリカ1648）
無球粒隕石（ダイオジェナイト） HED-D
モロッコ（サハラ砂漠） Morocco
2002
発見
11.6g（総重量803g）

・ Northwest Africa 1182（北西アフリカ1182）
無球粒隕石（ホワルダイト） HED-H
モロッコMorocco
2000
発見
338g（総重量780g）

・ Mbale（ウンバール）
球粒隕石（普通コンドライト） L5-6
ウガンダ共和国Uganda
1992/8/14
落下
96g（総重量150Kg）

・ Northwest Africa 978（北西アフリカ978）

球粒隕石（ルムルチコンドライト）R3.8
 モロッコ（サハラ砂漠）Morocco
 2001
 発見
 9.3g（総重量722g）

・ Sayh al Uhaymir 005（セイ・アル・ウハイミール005）
 無球粒隕石（シャーゴツタイト）SNC-SHE
 オマーン首長国Oman
 1999/11/26
 発見
 3.5g（総重量1.3Kg）
 〈火星起源隕石〉

・ Canyon Diablo（キャニオン・ディアブロ）
 鉄隕石（オクタヘドライト）IAB
 アメリカ合衆国U.S.A
 1891
 発見
 349g（総重量30t）

・ Campo Del Cielo（カンポ・デル・シエロ）
 鉄隕石（オクタヘドライト）IAB
 アルゼンチンArgentina
 1576
 発見
 40Kg（総重量100t）



企画展示 人類史部門

世界の仮面展

開催期間

平成25年6月13日(木)～9月8日(日)

作品点数

137点

後援

岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、(社)高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

展示目的

仮面は人の顔に別の顔を付けて元の人とは別の存在になるための道具であり、目に見えない神、精霊、死者、鬼など超自然的な存在を表現するアイテムとして長く活用されてきた。世界各地の古代文明以前から主に農耕社会で仮面の使用が始まり、豊穡祈願や成人儀礼、葬祭儀礼、奉納演芸など人々の生活と共に様々な変遷をたどりながら現在まで受け継がれている。本展では、館所蔵品の中から仮面137点を紹介し、世界のユニークで表情豊かな様々な仮面を比較して子供も興味を持てる展示を心がけた。

展示概要

本展では、日本・アメリカ・オセアニア・アフリカ・ヨーロッパ・アジアという6つの地域コーナーに分けて仮面137点を集合展示し、現在まで連綿と続く仮面の魅力を探り、ユニークで表情豊かな様々な世界各地の仮面を比較しながら用途や役割を紹介した。また、実物資料と共に「仮面総選挙」と題した人気投票や仮面をつけて写真撮影ができるコーナー、仮面小顔体操、面子などの参加型の体験学習を行った。

展示の様子



展示作品

資料名	地域
能面 白式尉	日本
能面 黒式尉	//
能面 小面	//
能面 増	//
能面 狸々	//
民俗仮面もしくは古い能面鬼神面	//
ナマハゲ	//
ナマハゲ	//
須佐之男命	//
木造古楽面女(国指定重要文化財)	//
ソング族の仮面	アフリカ
人物の仮面	//
人物の仮面	//
人物仮面	//

資料名	地域
仮面	アフリカ
人物仮面	//
仮面	//
人物仮面	//
仮面	//
仮面	//
動物の仮面	//
仮面	//
ルクワコンゴブワミ結社の仮面	//
ブヌ族の仮面	//
仮面	//
仮面	//
仮面	//
仮面	//
ヒロードの貴婦人の仮面	イタリア
太陽と月の仮面	//
女性ジョーカーの仮面	//
蝶の様相の仮面	//
帽子の貴婦人の仮面	//
ガジヤマダ将軍の仮面	インドネシア
ジャガーの仮面	グアテマラ
ジャガーの仮面	//
鹿の仮面	//
人物の仮面	//
青年の仮面	//
悪魔の仮面	//
人物の仮面	//
人物の仮面	//
獵人の仮面	//
カラスの仮面	シカゴ
人物の仮面	スリランカ
猿の王ハヌマンの仮面	タイ
ナラヤナ神の仮面	//
人物の仮面	//
仮面	ネパール
人物の仮面	//
人物の仮面	//
人物の仮面	//
人物の仮面	//
ネワール族の女性仮面	//
人物の仮面	//
人物の仮面	//
人物の仮面	//
マイの仮面	パプアニューギニア
マイの仮面	//
ヒョウタン製ヘルメット	//
青年の仮面	バングラディッシュ
鳥仮面	ブータン
コメディフランセーズの仮面	フランス
ワリ文化のミイラマスク	ペルー
チャンカイ文化のミイラマスク	//
ワリ文化のミイラマスク	//
人物の仮面	//
チャンカイ文化のミイラマスク	//
チャンカイ文化のミイラマスク	//
銀製儀式用仮面	//
悪魔の仮面	ポリネシア
悪魔の仮面	メキシコ

資料名	地域
悪魔の仮面	メキシコ
仮面	//
悪魔の仮面	//
悪魔の仮面	//
牛の仮面	//
牛の仮面	//
牛の仮面	//
牛の仮面	//
ブルの仮面	//
悪魔の仮面	//
ジャガーの仮面	//
ジャガーの仮面	//
白人の仮面	//
スペイン人の仮面	//
白人の仮面	//
白人の仮面	//
仮面	//
ウィスキストリの仮面	//
仮面	//
仮面	//
人物の仮面	//
人物の仮面	//
動物の仮面	//
仮面	//
老人の仮面	//
老人の仮面	//
スペイン王の仮面	//
悪魔の仮面	//
悪魔の仮面	//
悪魔の仮面	//
人物の仮面	//
人物の仮面	//
ジャガーの仮面	//
ジャガーの仮面	//
ジャガーの仮面	//
動物の仮面	//
犬の仮面	//
人物の仮面	//
人物の仮面	//
ジャガーの仮面	//
動物の仮面	//
牛の仮面	//
両班の仮面	韓国
婦女仮面	//
小巫の仮面	//
酔癡の仮面	//
京劇 魏延の仮面	中国
京劇 李天王の仮面	//
京劇 関羽の仮面	//
京劇 秦廣王の仮面	//
京劇 孫悟空の仮面	//
京劇 沙悟浄の仮面	//
京劇 猪八戒の仮面	//
京劇 仲离春の仮面	//
京劇 潘璋の仮面	//
京劇 姜維の仮面	//
京劇 屠岸賈の仮面	//
京劇 乾彰の仮面	//

資料名	地域
京劇 火判の仮面	中国
京劇 牛遊の仮面	//
京劇 毛賁の仮面	//
京劇 王翳の仮面	//
京劇 夏侯徳の仮面	//
京劇 王英の仮面	//
京劇 黄壯の仮面	//

教育普及活動

出張美術館

実施にあたって

子供たちが、幼少の頃から美術館・博物館に行き、本物に触れるということが欧米では決して珍しくない。当館では小・中学校に美術品を持ち込んで、児童・生徒に本物に触れさせ、優れた作品から感動・喜びを体験してもらおうと出張美術館を開催している。

文化庁のモデル事業として始まったこの出張美術館も今年（H25）で11年目。授業数が減る中、図工・美術の鑑賞教育の支援として学校と連携して行い、10月～12月の約3ヶ月間に下記の通り出張した。

出張美術館を通じて子供たちが芸術文化に触れ合い、和やかな心と豊かな感性を持った人間に成長することを願うと共に、交通のデメリットを少しでも解消し、多くの人々に美術鑑賞をしていただきたいと考えている。

平成24年度

小学校

日付	学校名	人数（クラス数）
10/2（火）	高山市立久々野小学校	32名（1クラス）
10/19（金）	高山市立新宮小学校	79名（2クラス）
10/19（金）	高山市立清見小学校	23名（1クラス）
10/22（月）	高山市立丹生川小学校	57名（2クラス）
10/26（金）	高山市立宮小学校	26名（1クラス）
11/8（木）	高山市立花里小学校	60名（2クラス）
11/16（金）	高山市立北小学校	109名（3クラス）
11/26（月）	高山市立江名子小学校	59名（2クラス）
11/29（木）	高山市立南小学校	82名（2クラス）
11/30（金）	高山市立三枝小学校	40名（1クラス）
12/4（火）	高山市立東小学校	95名（3クラス）
12/7（金）	高山市立国府小学校	84名（3クラス）
12/11（火）	高山市立西小学校	36名（1クラス）
合計	13校	782名

中学校

日付	学校名	人数（クラス数）
10/3（水）	高山市立久々野中学校	42名（2クラス）
10/16（火）	高山市立朝日中学校	51名（2クラス）
10/23（火）	高山市立東山中学校	130名（3クラス）
11/12（月）	高山市立松倉中学校	156名（4クラス）
11/15（木）	高山市立丹生川中学校	46名（2クラス）
12/3（月）	高山市立中山中学校	165名（5クラス）
12/5（水）	高山市立日枝中学校	213名（6クラス）
合計	7校	803名

小学校作品リスト

資料名	作者	備考
東海道五十三次『品川（日之出）』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『藤川（棒鼻の圖）』	//	//
東海道五十三次『吉原（左富士）』	//	//
東海道五十三次『池鯉鮒（首夏馬市）』	//	//
東海道五十三次『吉田（豊川橋）』	//	//
東海道五十三次『庄野（白雨）』	//	//

中学校作品リスト

資料名	作者	備考
美人あわせ	溪斎英泉	肉筆浮世絵
名所江戸百景『両ごく回向院元柳橋』	歌川広重	浮世絵版画
名所江戸百景『目黒千代か池』	//	//
名所江戸百景『猿わか町よるの景』	//	//
名所江戸百景『大はしあたけの夕立』	//	//
名所江戸百景『真崎邊より水神の森内川関屋の里を見る圖』	//	//
名所江戸百景『びくにはし雪中』	//	//

掲載記事



平成24年10月27日 岐阜新聞掲載

出張美術館の様子



平成25年度

小学校

日付	学校名	人数（クラス数）
9/27（金）	高山市立久々野小学校	36名（1クラス）
10/3（木）	高山市立三枝小学校	35名（1クラス）
10/8（火）	高山市立清見小学校	27名（1クラス）
10/9（水）	高山市立新宮小学校	86名（3クラス）
10/10（木）	高山市立岩滝小学校	5名（2学年）
11/11（月）	高山市立国府小学校	87名（3クラス）
11/18（月）	高山市立南小学校	62名（2クラス）
11/19（火）	高山市立宮小学校	34名（1クラス）
11/21（木）	高山市立江名子小学校	59名（2クラス）
11/27（水）	高山市立花里小学校	55名（2クラス）
11/28（木）	高山市立山王小学校	121名（3クラス）
12/2（月）	高山市立北小学校	127名（4クラス）
12/4（水）	高山市立丹生川小学校	45名（2クラス）
12/12（木）	高山市立西小学校	32名（1クラス）
12/16（月）	高山市立東小学校	90名（3クラス）
合計	15校	901名

中学校

日付	学校名	人数（クラス数）
10/15（火）	高山市立朝日中学校	46名（2クラス）
10/22（火）	高山市立東山中学校	129名（4クラス）

日付	学校名	人数(クラス数)
11/26(火)	高山市立松倉中学校	155名(4クラス)
12/3(火)	高山市立日枝中学校	184名(5クラス)
12/10(火)	高山市立丹生川中学校	46名(2クラス)
12/13(金)	高山市立中山中学校	160名(4クラス)
合計	6校	720名

小学校作品リスト

資料名	作者	備考
東海道五十三次『日本橋(朝之景)』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『袋井(出茶屋ノ図)』	//	//
東海道五十三次『三島(朝霧)』	//	//
東海道五十三次『石薬師(石薬師寺)』	//	//
東海道五十三次『岡部(宇津之山)』	//	//
東海道五十三次『石部(目川ノ里)』	//	//

中学校作品リスト

資料名	作者	備考
遊女	磯川亭一指	肉筆浮世絵
名所江戸百景『高田の馬場』	歌川広重	浮世絵版画
名所江戸百景『玉川堤乃花』	//	//
名所江戸百景『上野山内月のまつ』	//	//
名所江戸百景『水道橋駿河臺』	//	//
名所江戸百景『金杉橋芝浦』	//	//
名所江戸百景『湯し満天神坂上眺望』	//	//

体験学習

実施にあたって

美術館・博物館が行う教育は、展示のほかに講演・講座をはじめとする多様な形態の学習支援活動がある。さらに、興味・関心を引き出す手法を開発したりアミューズメント性を高めることで、幼児から高齢者まで誰もが気軽に自発的に学習したり、知を愉しむことのできる場となる。当館のレプリカ作りやストラップ作り等は、楽しく学び、美術館・博物館に親しみを感じて頂く事を目的とする。

人類史部門の体験学習

□ビーズ付きオリジナルストラップを作ろう!

日時：平成24・25年度開館中の土曜日

場所：人類史展示室前

対象：小学1年生以上

参加者：平成24年 延べ 243名、平成25年 延べ 190名

参加費：100円

内容：プラ板にあらかじめ用意した古代の絵柄を写したり、オリジナルの模様を描いて色を塗り、紐とビーズをつけてストラップを作る体験学習。平成25年は世界の仮面展に関連した絵柄やキャラクターを追加した。

状況：夏休みの企画や特別展で使用したキャラクターなどの絵柄が子供たちに好評だった。またキャラクターへの興味が展示内容への関心を引き出す一助となったようだ。



□ビーズ付きまがたまストラップを作ろう!!

日時：平成24・25年開館中の日曜日、祝日、8月10日～16日

場所：人類史展示室前

対象：小学1年生以上

参加者：平成24年 延べ 764名、平成25年 延べ 412名

参加費：100円

内容：カラフルなオープン粘土で作った勾玉に紐を通し、ビーズをトッピングしたストラップを作る体験学習。平成25年は仮面をモチーフにしたストラップの見本を追加し、世界の仮面展にちなんで楽しめるようにした。

状況：仮面をモチーフにしたストラップは作成難易度の高いものではあったが、形や難易度のバリエーションが増え、初めての方からリピーターまで様々な方に楽しんでいただけたようになった。



飛騨部門の体験学習

□レプリカストラップをつくろう!

(スワロフスキーのデコでピカピカ♪)

日時：平成24年4月1日～H25年7月15日開館中の土曜日

場所：飛騨展示室

対象：4歳以上

参加者：508名

参加費：100円

内容：古生物に触れながら解説を聞き、キラキラ輝くレプリカを作る体験学習。あらかじめ選んでいた2色の樹脂を混ぜ合わせ、型(アンモナイトかスピリファア)に入れ、クリスタルガラスや天然石でデコレーションを施したものにストラップを付ける。

状況：半透明のレプリカとキラキラ輝くデコレーションが人気の企画。小さなお子さん自身も自身の出来栄に大変満足した様子が多くみられ印象的な体験学習だった。



□光る!アンモナイトレプリカを作ろう!

日時：平成24年4月1日～H25年7月15日開館中の日曜日、祝日

場所：飛騨展示室

対象：4歳以上

参加者：689名

参加費：200円

内容：化石種から現生種までの頭足類を中心に解説を行い、化石に触れながら観察をする。アンモナイトの化石から取った型に柔らかくした樹脂を入れ、当館で予め作製したLEDユニットを埋めて、光るアンモナイトレプリカを作る体験学習。

状況：当館で作成するLEDユニットも色数が増え3色となり、樹脂とストラップとの組み合わせが1728通りとなる。混ぜる樹脂も二度同じ模様ができないため、個性的で一つしかないレプリカの出来上がりを楽しそうにご覧になっていた。



□七色に光る!アンモナイトレプリカを作ろう!

日時：平成24年8月11日～8月15日(5日間)

場所：飛騨展示室

対象：4歳以上

参加者：70名

参加費：300円

内容：七色に遷移するLEDを使用した「光るアンモナイトレプリカ」を作る体験学習。

状況：期間を限定したこの体験学習は、毎年人気が一番あり、希望者全員を受け入れることができない状況だった。化石種を中心に現生生物までの頭足類の解説を行うと、子供だけでなく家族も一緒に参加され真剣に話を聞き、集中して取り組んでいる様子だった。



□古生物のレプリカ消しゴムを作ろう!

日時：平成25年7月20日～9月1日の土曜日、日曜日、祝日、お盆期間

場所：飛騨展示室

対象：小学1年生以上（但し、保護者同伴の場合は制限なし）

参加者：142名

参加費：大150円 中50円

内容：茹でると消しゴムになる「粘土消しゴム」を使用して、古生物のレプリカを作る体験学習。

状況：アンモナイトや三葉虫など好きな古生物を選び、粘土板の上で練り棒を使って粘土消しゴムを練る工程を和気あいあいと楽しむ家族連れの姿がみられた。



□型から作る、古生物のレプリカ!

日時：平成25年7月20日～9月1日の土曜日、日曜日、祝日、お盆期間

場所：飛騨展示室

対象：小学1年生以上（但し、保護者同伴の場合は制限なし）

参加者：51名

参加費：200円

内容：粘土に化石の押し型を取る。その型に樹脂を入れ、レプリカを作る体験学習。

状況：化石はアンモナイトと三葉虫の2種類から選ぶ。子供達にとって、粘土を用い自分自身で化石の型を取るところが魅力だったようだ。型に使用した粘土は、希望があればお譲りした。



□レプリカストラップをつくろう!(セルフキット)

日時：平成25年9月7日～ 土曜日、日曜日、祝日

場所：飛騨展示室

対象：4歳以上

参加者：92名

参加費：100円

内容：レプリカストラップをつくろう!(スワロフスキーのデコでピカピカ♪)のセルフキット化したもの。キットの内容をお客様に選んでいただき、マニュアルに沿って、レプリカを作っていた。

状況：時間がないお客様も手軽にレプリカ作りをしていただけるようになった。お客様に対応してアドバイス、手助け等を行うことで、キット化しても出来上がりに満足していただけた様子だった。



□光る!アンモナイトレプリカを作ろう!(セルフキット)

日時：平成25年9月7日～平成26年3月31日の土曜日、日曜日、祝日

場所：飛騨展示室

対象：小学1年生以上（但し、保護者同伴の場合は制限はありません）

参加者：44名

参加費：50円

内容：古生物のレプリカ消しゴムを作ろう!のセルフキット化したもの。本物の化石から取った型を使い、粘土消しゴムで古生物のレプリカを作る体験学習。

状況：自分自身でアンモナイトや三葉虫など好きな古生物を選び、レプリカ作りを楽しんだ様子だった。



□七色に光る!アンモナイトのレプリカを作ろう!
(出張博物館)

主催：丹生川地区社会教育運営委員会
日時：平成24年10月14日
場所：丹生川文化ホール
対象：4歳以上
参加者：38名
参加費：300円

内容：館内で行っている「七色に光る!アンモナイトのレプリカを作ろう」を出張して行うワークショップ。
状況：参加者からは、「楽しかったので他のレプリカ作りもして欲しい」「本物と同じくできたのが嬉しかった」保護者からは「家ではできない体験をさせて頂いて良かったです」「楽しい学習で内容もたくさんあり良かったです。良い経験ができました」との感想があった。低学年の参加者も集中して話を聞き、質問にも笑顔で積極的に手を挙げていて、楽しみながらできたようだった。



□七色に光る!ティラノサウルスの歯のレプリカを作ろう!

主催：丹生川地区社会教育運営委員会
日時：平成25年10月6日
場所：丹生川文化ホール
対象：4歳以上
参加者：30名
参加費：300円

内容：例年出張をして行っているワークショップ。当該年度は、恐竜の歯のレプリカを作っていただいた。恐竜の解説や、化石に触れながら観察をしていただき、その後ティラノサウルスの歯のレプリカを作製した。
状況：参加者からは、「恐竜のことがいっぱい知れて良かったです」「恐竜の歯を作るのが面白かった。またやって欲しい」保護者からは、「今回の体験も楽しかったので続けて欲しいです」「子供が楽しそうだったのでまた参加したいです」との感想があった。参加者は、本物の化石に触れると大変喜ばれ、「恐竜を発掘したい」との声がでるなど自然史への興味を抱いたように感じられた。



□ティラノサウルスの歯をさわっちゃおう!

日時：平成25年7月20日～8月31日
場所：飛騨展示室
対象：全員
参加者：458名
参加費：無料
内容：本物のティラノサウルスの歯に触る体験。
状況：中生代のことやティラノサウルスの簡単な解説を聞いた後、実物資料に触れていただくので、鋸歯などに触れる度に感嘆されていた。



□アエンデ隕石にさわっちゃおう!

日時：平成25年7月20日～9月1日
場所：飛騨展示室
対象：全員
参加者：4,418名
参加費：無料
内容：アエンデ隕石に触る体験。
状況：「太陽系と隕石展」会期中に併せ開催。隕石に触れることを目的に来館された方もいらっしゃり、満足された様子だった。



□わくわく探検ノート/シート

日時：平成24年25年開館中
場所：飛騨展示室
対象：全員
利用者数：ノート1,356部、シート3,597部
参加費：無料
内容：展示を見てその化石などのスタンプを押す。(どちらも最後にステッカーをプレゼントする。
状況：ワークシートにスタンプシートを併せたもので、展示を見ながら読むことができる。当該地域の解説を盛り込んでいるため、理科の教科書の副読本として使用していただける。



貸出資料

作品貸出

資料名	作者名	いつから	いつまで	展覧会名	会場
晴日	伊東深水	H24/01/02	H24/02/13	H24冬：没後40年伊藤深水展	島根県立美術館
指（下図）	//	//	//	//	//
名所江戸百景（浅草金龍山）	歌川広重	H24/04/20	H24/05/30	H24春：光記念館日本画名品展 横山大観と日本画のあじわい	パラミタミュージアム
七世市川團十郎隅田川渡舟図	歌川国次	//	//	//	//
名所江戸百景（亀戸梅屋舗）	歌川広重	//	//	//	//
名所江戸百景（水道橋駿河臺）	//	//	//	//	//
名所江戸百景（大はし阿たけの夕立）	//	//	//	//	//
竜神図	河鍋曉斎	//	//	//	//
名所江戸百景（両國花火）	歌川広重	//	//	//	//
桜下美人と禿図	歌川豊國	//	//	//	//
名所江戸百景（深川洲崎十萬坪）	歌川広重	//	//	//	//
夜桜	加山又造	//	//	//	//
湖辺	菱田春草	//	//	//	//
名所江戸百景（亀戸天神境内）	歌川広重	//	//	//	//
古城春夕	川合玉堂	//	//	//	//
娘と従者	柳々居辰斎	//	//	//	//
龍虎図	牧谿	//	//	//	//
男舞	月岡雪鼎	//	//	//	//
若衆と美人図	宮川一笑	//	//	//	//
女の園図	宮川長春	//	//	//	//
立ち美人	//	//	//	//	//
はは木々	土佐光起	//	//	//	//
黒馬	狩野益信	//	//	//	//
暁暎	横山大観	//	//	//	//
四季草花図屏風	宗達工房	//	//	//	//
誰ヶ袖の図	作者不詳	//	//	//	//
桜下美人	窪俊満	//	//	//	//
不二豊峰	横山大観	//	//	//	//
椿	佐多芳郎	//	//	//	//
巖島	前田青邨	//	//	//	//
武将	前田青邨	//	//	//	//
今戸瓦焼図	歌川広重	//	//	//	//
観音	安田靉彦	//	//	//	//
赤家富	橋本明治	//	//	//	//
三保之不二山	横山大観	//	//	//	//
海浜	//	//	//	//	//
竹林	//	//	//	//	//
蓬萊山	//	//	//	//	//
山村積雪	川合玉堂	//	//	//	//
武陵桃源	下村観山	//	//	//	//
晴日	伊東深水	//	//	//	//
凧	東山魁夷	//	//	//	//
怒涛	横山大観	//	//	//	//

資料名	作者名	いつから	いつまで	展覧会名	会場
暮色	//	H24/04/20	H24/05/30	H24春：光記念館日本画名品展 横山大観と日本画のあじわい	パラミタミュージアム
わか葉頃	上村松園	//	//	//	//
月下の雁	横山大観	//	//	//	//
晴れ間	上村松園	//	//	//	//
秋の月	横山大観	//	//	//	//
牡丹図	村上華岳	//	//	//	//
神田祭	鍋木清方	//	//	//	//
花の山	//	//	//	//	//
飛天妃図	棟方志功	//	//	//	//
御如意法輪大施無畏尊図	//	//	//	//	//
金鞍白馬	川端龍子	//	//	//	//
富貴盤	//	//	//	//	//
御点前	伊東深水	//	//	//	//
今様浅妻船	鍋木清方	H24/07/01	H24/09/20	H24夏：市制80周年記念展「上村松園と鍋木清方」	平塚市美術館
神田祭	//	//	//	//	//
権八小紫	//	//	//	//	//
四季美人図	上村松園	//	//	//	//
巖島	前田青邨	H24/08/03	H24/08/26	H24夏：第18回 秘蔵の名品アートコレクション展	ホテルオークラ 東京
帰牧	菱田春草	//	//	//	//
渡舟図	菱田春草	//	//	//	//
京鹿子娘道成寺2	鍋木清方	H25/04/04	H25/05/06	H25春：富士山と桜展	パラミタミュージアム
京鹿子娘道成寺5	//	//	//	//	//
京鹿子娘道成寺9	//	//	//	//	//
京鹿子娘道成寺13	//	//	//	//	//
朝霧	西藤哲夫	//	//	//	//
旅愁	佐藤太清	//	//	//	//
富士	小川芋銭	//	//	//	//
桜図	今井俊満	//	//	//	//
冬晴	竹内栖鳳	//	//	//	//
夏の夜図	上村松園	H25/04/20	H25/06/02	H25春：上村松園展	名古屋市美術館
木陰唐子	//	//	//	//	//
夏の美人	//	//	//	//	//
わか葉頃	//	//	//	//	//
紫式部図	//	//	//	//	//
三美人之図	//	//	//	//	//
美人之図	//	//	//	//	//
四季美人図	//	//	//	//	//
旅愁	佐藤太清	H25/06/21	H25/08/04	H25：生誕100年 佐藤太清展	富山県水墨美術館
旅愁	佐藤太清	H25/10/05	H25/11/10	H25：生誕100年 佐藤太清展	板橋区立美術館
旅愁	佐藤太清	H25/12/22	H26/02/09	H25-H26：生誕100年 佐藤太清展	京都文化博物館
旅愁	佐藤太清	H26/03/01	H26/04/13	H25-H26：生誕100年 佐藤太清展	茨城県天心記念館五浦美術館
凧	東山魁夷	H25/07/06	H25/09/01	H25夏：三陸復興国立公園指定記念「種差 一よみがえれ 浜の記憶」	青森県立美術館
女の園図	宮川長春	H25/10/12	H25/11/17	H25秋：特別展 宮川長春	大和文華館
見立琴高仙人	//	//	//	//	//
柳下布さらし	//	//	//	//	//
立ち美人	//	//	//	//	//

資料名	作者名	いつから	いつまで	展覧会名	会場
富嶽三十六景（山下白雨）	葛飾北斎	H25/10/26	H25/12/23	H25秋：ふじ・霊峰富嶽の名画がズラリ-	平野美術館
富嶽三十六景（御廐川岸より両国橋夕陽見）	//	//	//	//	//
富嶽三十六景（尾州不二見原）	//	//	//	//	//
富嶽三十六景（東海道江尻田子の浦略図）	//	//	//	//	//
富嶽三十六景（東海道金谷ノ不二）	//	//	//	//	//
富嶽三十六景（諸人登山）	//	//	//	//	//
富嶽三十六景（駿州片倉茶園ノ不二）	//	//	//	//	//
富嶽三十六景（駿州江尻）	//	//	//	//	//
富嶽三十六景（甲州三坂水面）	//	//	//	//	//
富嶽三十六景（江都駿河町三井見世略図）	//	//	//	//	//
富嶽三十六景（遠江山中）	//	//	//	//	//
富嶽三十六景（甲州三島越）	//	//	//	//	//
山村積雪	川合玉堂	H25/11/08	H25/12/08	H25秋：素顔の玉堂—川合玉堂と彼を支えた人びと—	岐阜県美術館
古城春夕	//	//	//	//	//
夏冬山水	//	//	//	//	//
湖村夕照	//	//	//	//	//